

だい き よこはまししょうがいしゃ さくせい
第5期横浜市障害者プラン作成のための
とうじしゃ む
当事者向けアンケート

けっ かほうこくしょ
結果報告書

なんびょう
難病

れいわ ねん がつ
令和8年3月
よこ はま し
横 浜 市

目 次

I	<u>調査の概要</u>	1
1	<u>調査の目的</u>	1
2	<u>調査対象</u>	1
3	<u>調査方法</u>	1
4	<u>調査期間</u>	1
5	<u>回収状況</u>	1
II	<u>調査結果</u>	2
	はじめに、このアンケートを <u>記入</u> される <u>方</u> についておたずねします.....	2
	あなたやあなたのご <u>家族</u> のことについておたずねします.....	3
	あなたの <u>地域</u> での <u>生活状況</u> についておたずねします.....	23
	<u>近所</u> の <u>人</u> との <u>おつきあい</u> や <u>余暇</u> についておたずねします.....	38
	<u>医療</u> と <u>健康</u> についておたずねします.....	51
	<u>災害関係</u> についておたずねします.....	55
	その他、 <u>自由意見</u> など.....	57

I 調査の概要

1 調査の目的

横浜市では障害福祉施策の方向性や福祉サービスの必要量を定める「横浜市障害者プラン」を策定している。令和9年度から令和14年度までの6年間を期間とする「第5期横浜市障害者プラン」を策定するため、障害者手帳をお持ちの方々の生活状況の把握やご意見を聴くことを目的にアンケートを実施した。

2 調査対象

令和7年12月現在、「身体障害者手帳をお持ちの方」、「愛の手帳をお持ちの方」、「精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方」、「障害者総合支援法の福祉サービスを利用している、障害者総合支援法対象疾病の患者の方」のうち、約10%の方19,000人を無作為抽出。

3 調査方法

郵送または横浜市電子申請・届出システム（以下、「システム」という。）によるアンケート形式

4 調査期間

郵送回答：令和8年1月14日～令和8年2月6日
システム回答：令和8年1月22日～令和8年2月11日

5 回収状況

アンケート配布数 19,000通
回収数 6,622件
回収率 34.9%

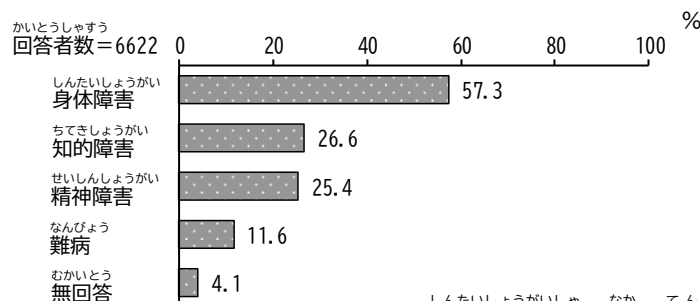
回答方法	配布数	回収数
郵送	19,000通	4,949件
システム		1,673件

※集計結果の見方

①数値はそれぞれ割合(%)を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている。

全体 (n=6,622)

身体障害者 (n=3,793)、知的障害者 (n=1,760)、精神障害者 (n=1,679)、難病 (n=769) 注：重複有



(身体障害者の中で点字回答1件)

②複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

③回答者の属性別（居住、居住形態など）の回答状況を示す表（クロス集計）を掲載した。

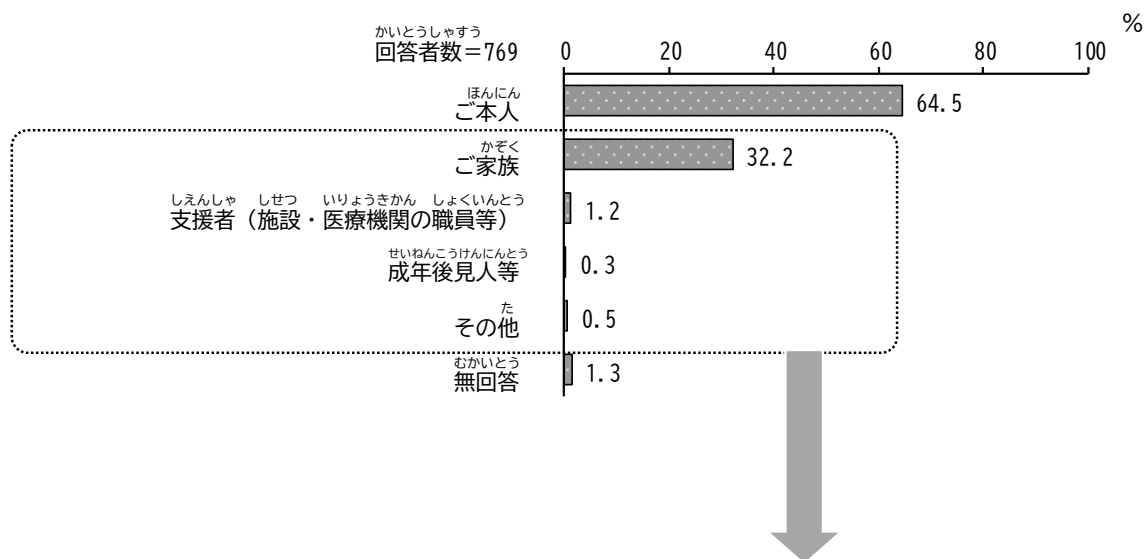
また、クロス表中で、選択肢の中で第1位の項目について網掛けにしている。

Ⅱ ちょうさけっか 調査結果

はじめに、このアンケートを記入される方についておたずねします

問1 このアンケートはどなたが記入されますか。（○は1つだけ）

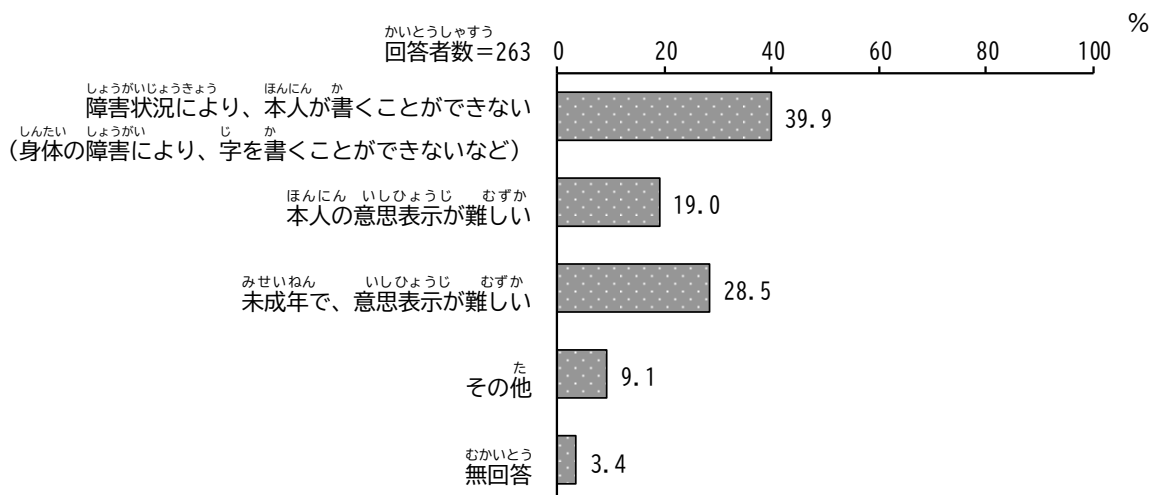
「ご本人」の割合が64.5%と最も高く、次いで「ご家族」の割合が32.2%となっています。



問1で「ご家族」から「その他」を選んだ方にうかがいます。

問1-1 本人以外の方が記入するのは、どのような状況からですか。（○は1つだけ）

「障害状況により、本人が書くことができない（身体の障害により、字を書くことができないなど）」の割合が39.9%、「未成年で、意思表示が難しい」の割合が28.5%、「本人の意思表示が難しい」の割合が19.0%となっています。

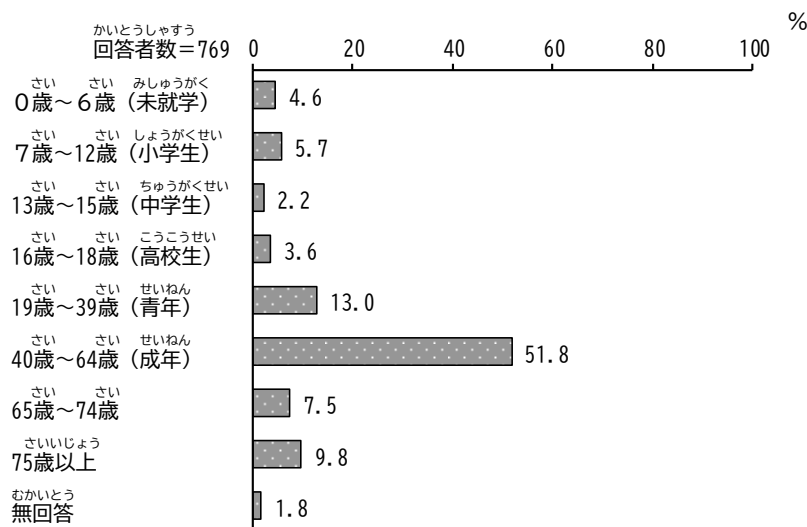


あなたやあなたのご家族のことについておたずねします

この後の質問で、「あなた」とは障害者本人のことです。

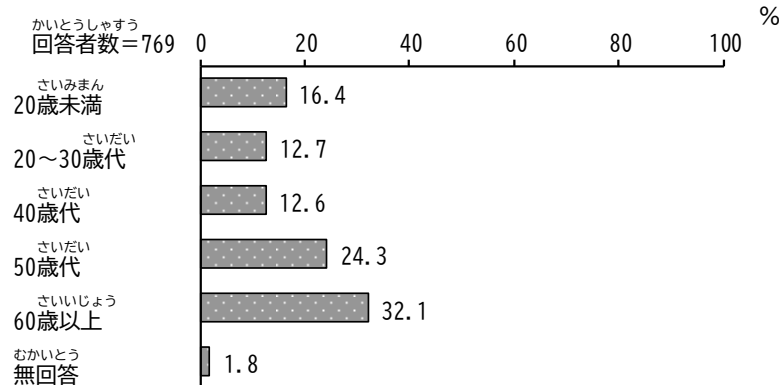
問2 あなたの年齢（歳）

「40歳～64歳（成年）」の割合が51.8%と最も高く、次いで「19歳～39歳（青年）」の割合が13.0%、「75歳以上」の割合が9.8%となっています。



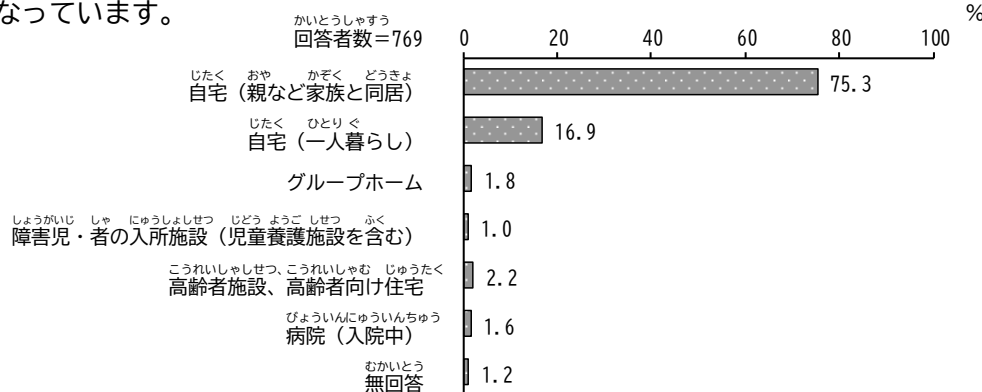
年代別

「60歳以上」の割合が32.1%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が24.3%、「20歳未満」の割合が16.4%となっています。



問3 あなたは現在どこで暮らしていますか。（○は1つだけ）

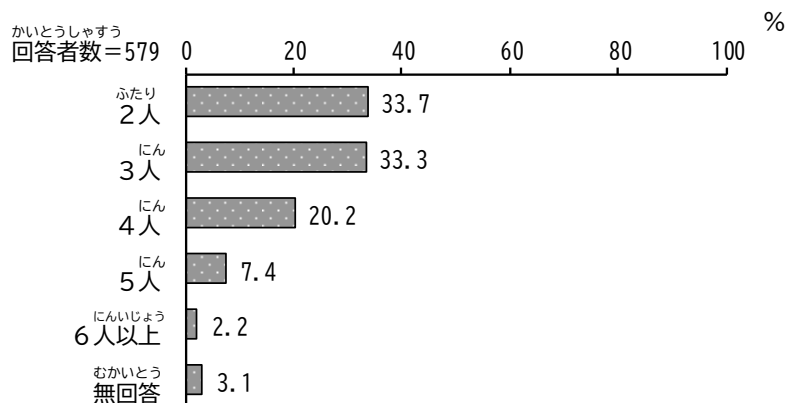
「自宅（親など家族と同居）」の割合が75.3%と最も高く、次いで「自宅（一人暮らし）」の割合が16.9%となっています。



問3で「自宅（親など家族と同居）」を選んだ方にうかがいます。

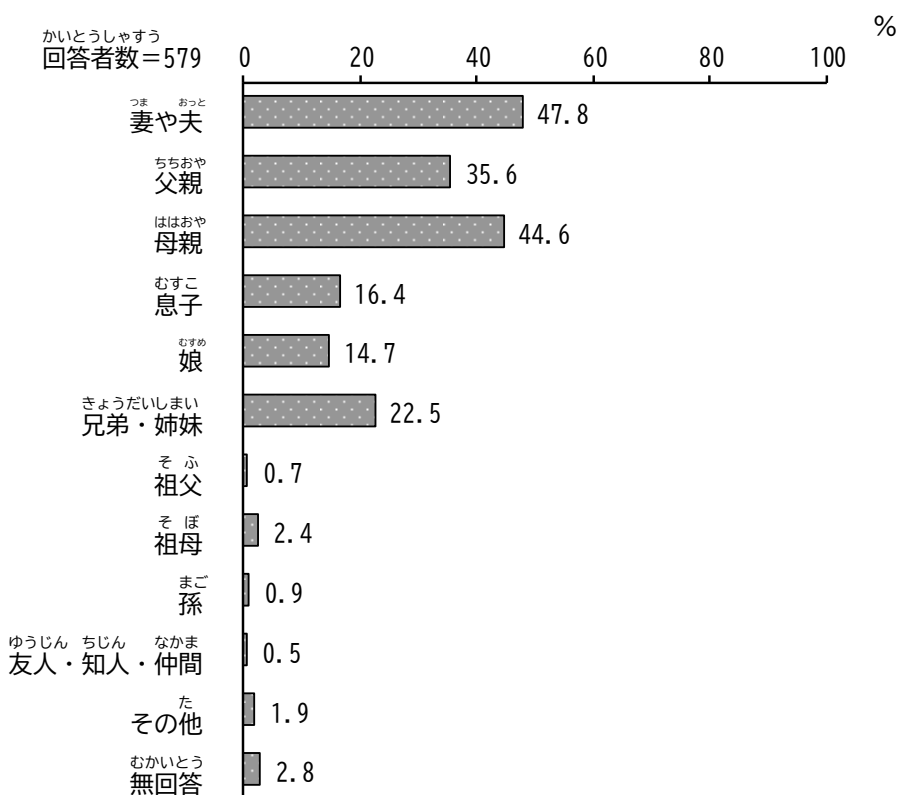
問3-1 自宅で暮らしている場合、一緒に暮らしている人はあなたを含めて何人ですか。（○は1つだけ）

「2人」の割合が33.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が33.3%、「4人」の割合が20.2%となっています。

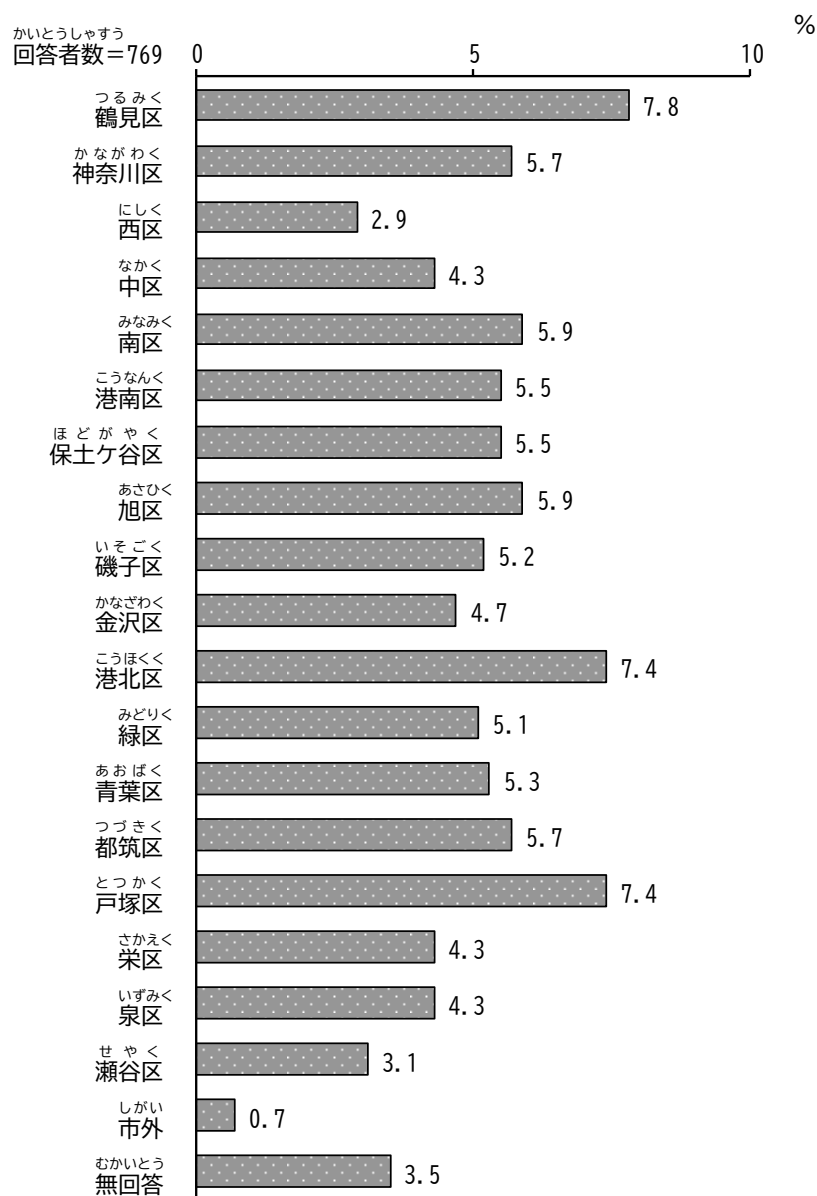


問3-2 あなたと一緒に暮らしている方すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「妻や夫」の割合が47.8%と最も高く、次いで「母親」の割合が44.6%、「父親」の割合が35.6%となっています。

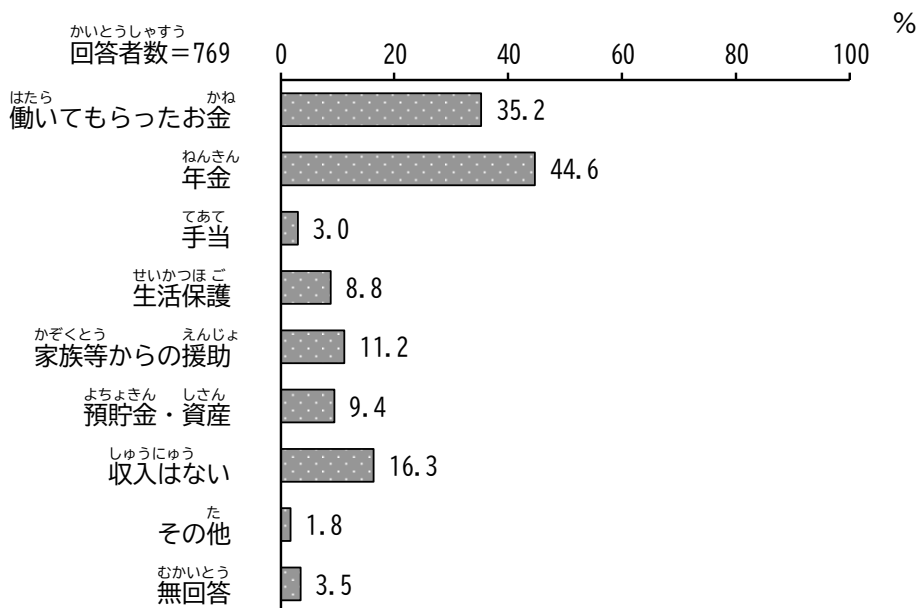


問4 あなたが現在暮らしているのは何区ですか。(○は1つだけ)



問5 あなたの収入源は何ですか。(○はいくつでも)

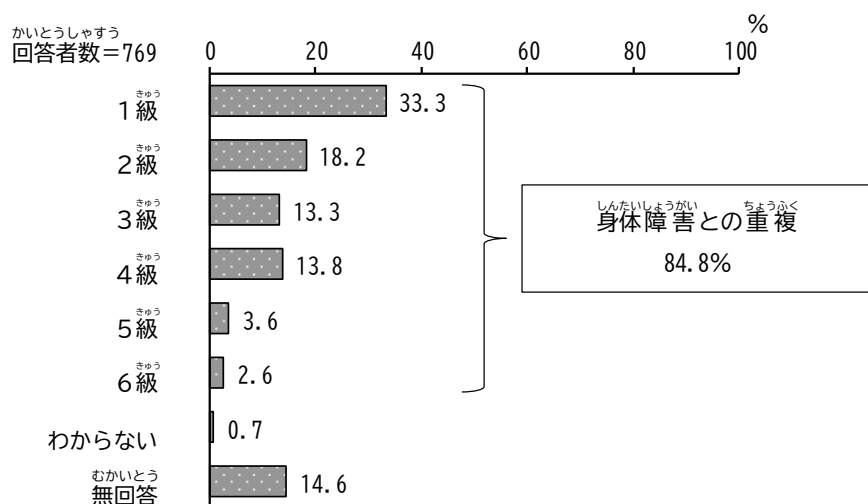
「年金」の割合が44.6%、「働いてもらったお金」が35.2%、「家族等からの援助」が11.2%の順に高くなっています。一方、「収入はない」の割合は16.3%となっています。



身体障害者手帳をお持ちの方は問6、愛の手帳をお持ちの方は問7、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は問8、をお答えください。複数にあてはまる方は、それぞれお答えください。

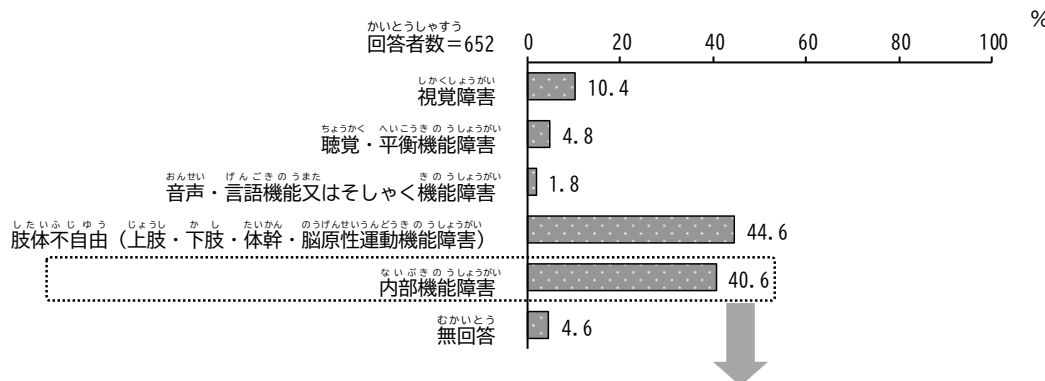
問6 あなたは「身体障害者手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「身体障害者手帳」に記載された現在の障害の程度をお答えください。(○は1つだけ)

「難病」の診断を受けている方の中で身体障害者手帳を持っている方は84.8%、「身体障害者手帳」の障害の程度は、「1級」の割合が33.3%と最も高く、次いで「2級」の割合が18.2%、「4級」の割合が13.8%となっています。



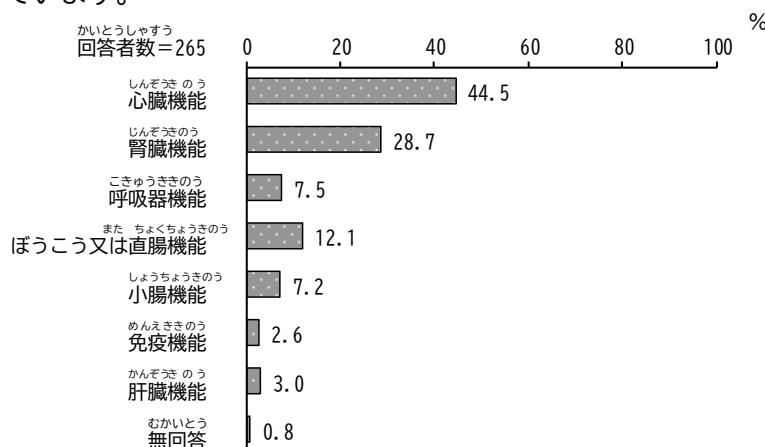
問6-1 「身体障害者手帳」をお持ちの方は、記載されている項目に○をつけてください。（○はいくつでも）

「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・脳原性運動機能障害）」の割合が44.6%と最も高く、次いで「内部機能障害」の割合が40.6%、「視覚障害」の割合が10.4%となっています。



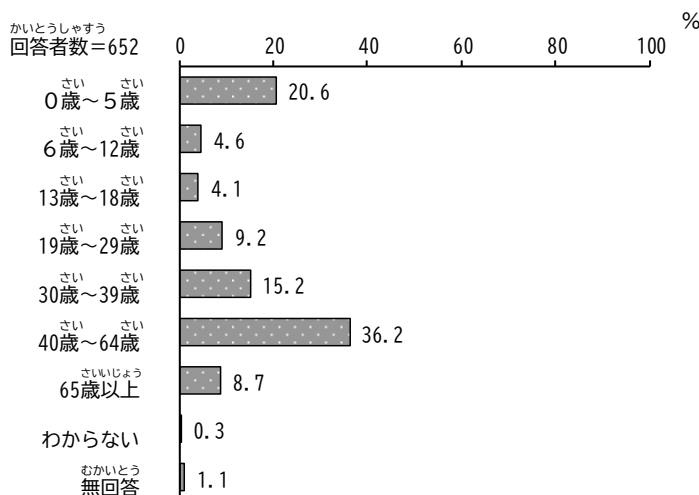
問6-1-1 「内部機能障害」の方は、障害の種別に○をつけてください。（○はいくつでも）

「心臓機能」の割合が44.5%と最も高く、次いで「腎臓機能」の割合が28.7%、「ぼうこう又は直腸機能」の割合が12.1%となっています。



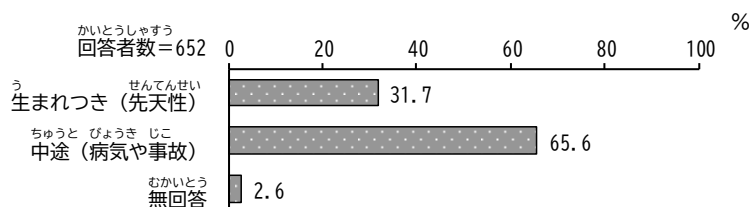
問6-2 「身体障害者手帳」を初めて取得した年齢についてお答えください。（○は1つだけ）

「難病」の診断を受けている方の中で「身体障害者手帳」を取得した年齢は、「40歳～64歳」の割合が36.2%と最も高く、次いで「0歳～5歳」の割合が20.6%、「30歳～39歳」の割合が15.2%となっています。



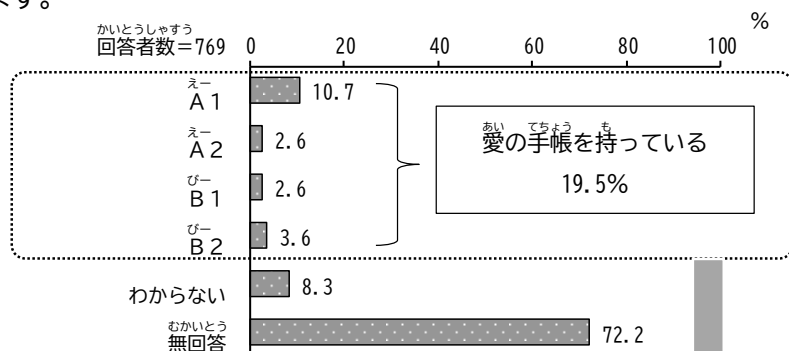
問6-2-1 障害の発症はいつですか。(○は1つだけ)

「中途（病気や事故）」の割合が 65.6%、「生まれつき（先天性）」の割合が 31.7%となっています。



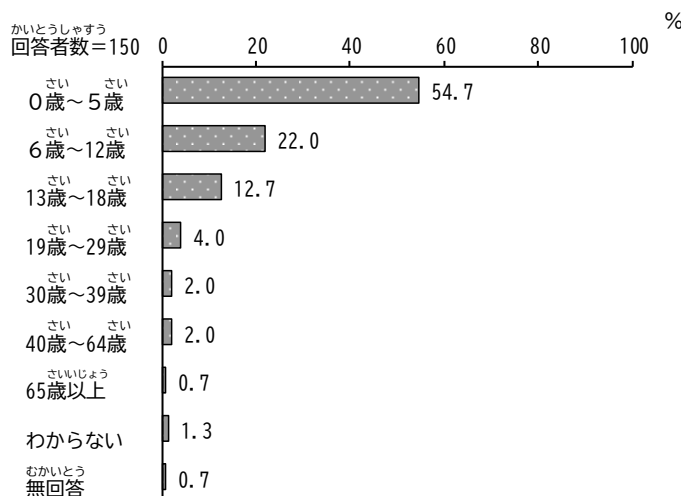
問7 あなたは「愛の手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「愛の手帳」に記載された現在の障害の程度をお答えください。(○は1つだけ)

「難病」の診断を受けている方の中で愛の手帳を持っている方は 19.5%、「愛の手帳」に記載された障害の程度は、「A1」の割合が 10.7%と最も高く、次いで「B2」の割合が 3.6%、「A2」「B1」の割合が 2.6%となっています。



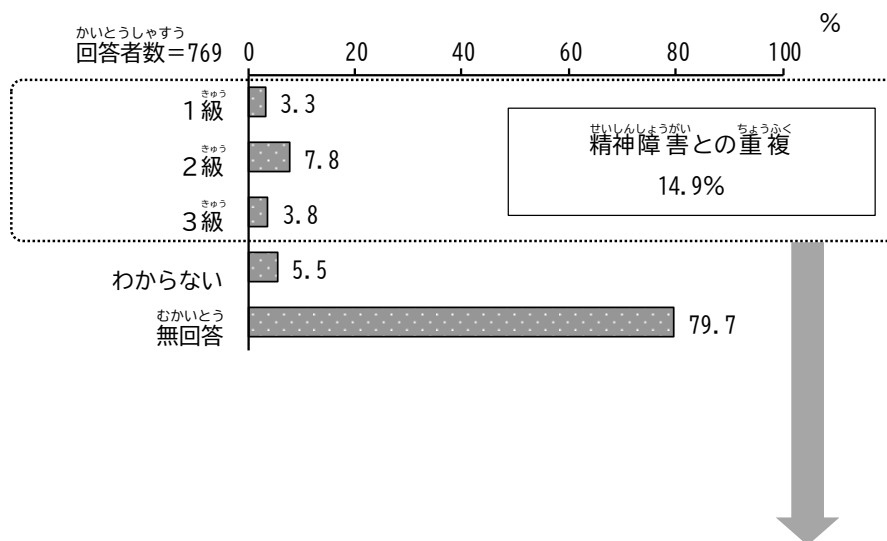
問7-1 あなたが「愛の手帳」を初めて取得した年齢についてお答えください。(○は1つだけ)

「難病」の診断を受けている方の中で「愛の手帳」を取得した年齢は、「0歳～5歳」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「6歳～12歳」の割合が 22.0%、「13歳～18歳」の割合が 12.7%となっています。



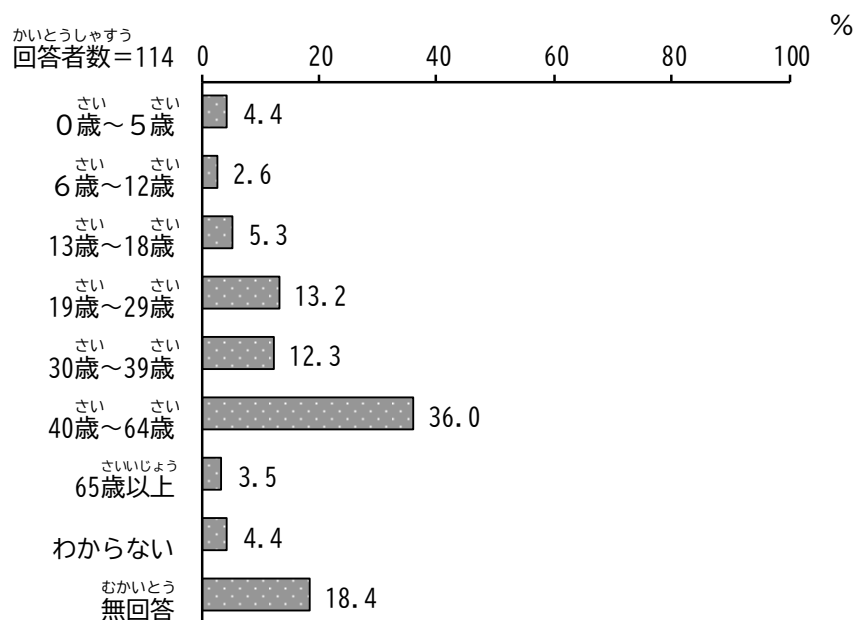
問8 あなたは「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。お持ちの方は、「精神障害者保健福祉手帳」に記載された現在の障害の程度をお答えください。（○は1つだけ）

「難病」の診断を受けている方の中で「精神障害者保健福祉手帳」を持っている方は14.9%、「愛の手帳」に記載された障害の程度は、「2級」の割合が7.8%と最も高く、次いで「3級」の割合が3.8%、「1級」の割合が3.3%となっています。



問8-1 「精神障害者保健福祉手帳」を初めて取得した年齢についてお答えください。（○は1つだけ）

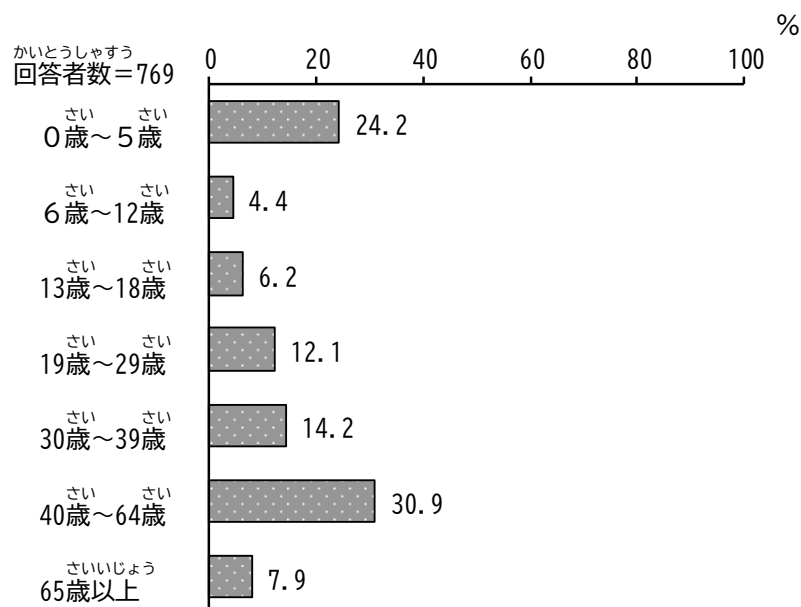
「難病」の診断を受けている方の中で「精神障害者保健福祉手帳」を取得した年齢は、「40歳～64歳」の割合が36.0%と最も高く、次いで「19歳～29歳」の割合が13.2%、「30歳～39歳」の割合が12.3%となっています。



難病の方は問9、医療的ケアを受けている方は問10をお答えください。あてはまらない方は問11へ

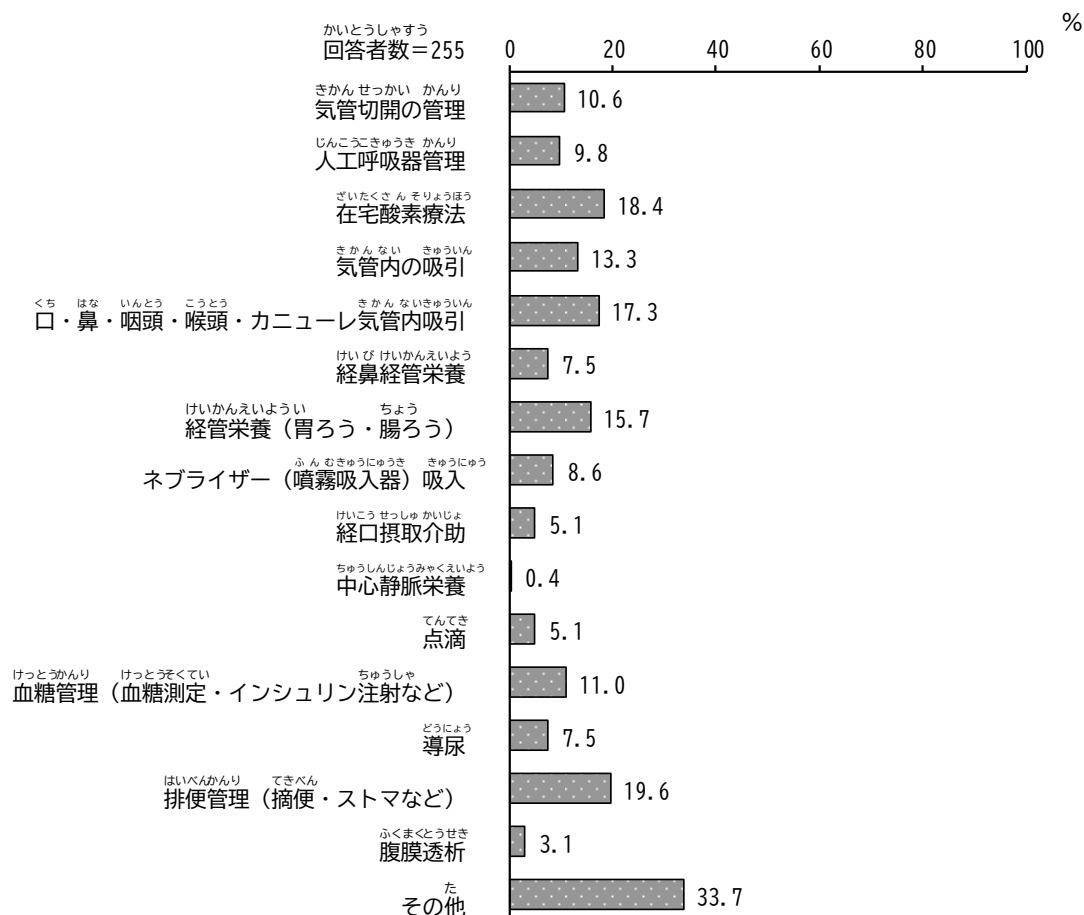
問9 「難病」の診断を受けている方にお尋ねします。診断を受けた年齢はいつですか。
(〇は1つだけ)

「難病」の診断を受けていると回答した方は回答者全体6,622人中769人(11.6%)で、診断を受けた年齢は、「40歳～64歳」の割合が30.9%と最も高く、次いで「0歳～5歳」の割合が24.2%、「30歳～39歳」の割合が14.2%となっています。



問10 医療的ケア等を必要としている方にお尋ねします。必要としている医療的ケア等に○をつけてください。(○はいくつでも)

「難病」の診断を受けている人の中で、医療的ケア等を必要としていると回答した方は 33.2%で、医療的ケア等の内容は、「排便管理（排便・ストマなど）」の割合が 19.6%と最も高く、次いで「在宅酸素療法」の割合が 18.4%、「口・鼻・咽頭・喉頭・カニューレ気管内吸引」の割合が 17.3%となっています。



【医療的ケア等の有無と災害時の備えのクロス】

医療的ケアを必要としている方が、災害時の備えとして行っていることをみると、「災害時の水や食糧を準備している」が最も高く、医療的ケアを必要としない方に比べ、「障害状況により必要な装具・補装具・薬・酸素ボンベなどを準備している」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数(件)	問33 災害時の備え												
			自分の避難先(地域防災拠点など)を確認している	災害時の水や食糧を準備している	ボンベなどを準備している	障害状況により必要な装具・補装具・薬・酸素	在宅医療機器の予備電源や予備バッテリーを準備している	家族や支援してくれる人と、災害時の対応について、話をしている	防災訓練などに参加している	の記載など)	地域のの人に事情を伝えている(要援護者名簿等への記載など)	避難所に移動する場合があることを確認している	避難生活が難しい方が、福祉	その他	特に何もしていない
全体		769	41.1	47.7	15.9	7.2	19.9	8.1	8.8	3.6	4.8	23.4	6.8		
問10 必要としている医療的ケア	医療的ケア等が必要	255	43.5	47.8	23.9	13.3	23.1	9.8	11.0	7.1	8.6	20.8	6.3		
	医療的ケア等不要	514	39.9	47.7	11.9	4.1	18.3	7.2	7.8	1.9	2.9	24.7	7.0		

【医療的ケア等の有無と災害時の不安のクロス】

医療的ケア等を必要としている方の、災害時の不安をみると、「避難所の設備が障害に配慮されている(バリアフリーになっている)か」が最も高く、医療的ケアを必要としない方に比べ、「停電で在宅医療機器が使えなくなるのではないか」の割合が高くなっています。

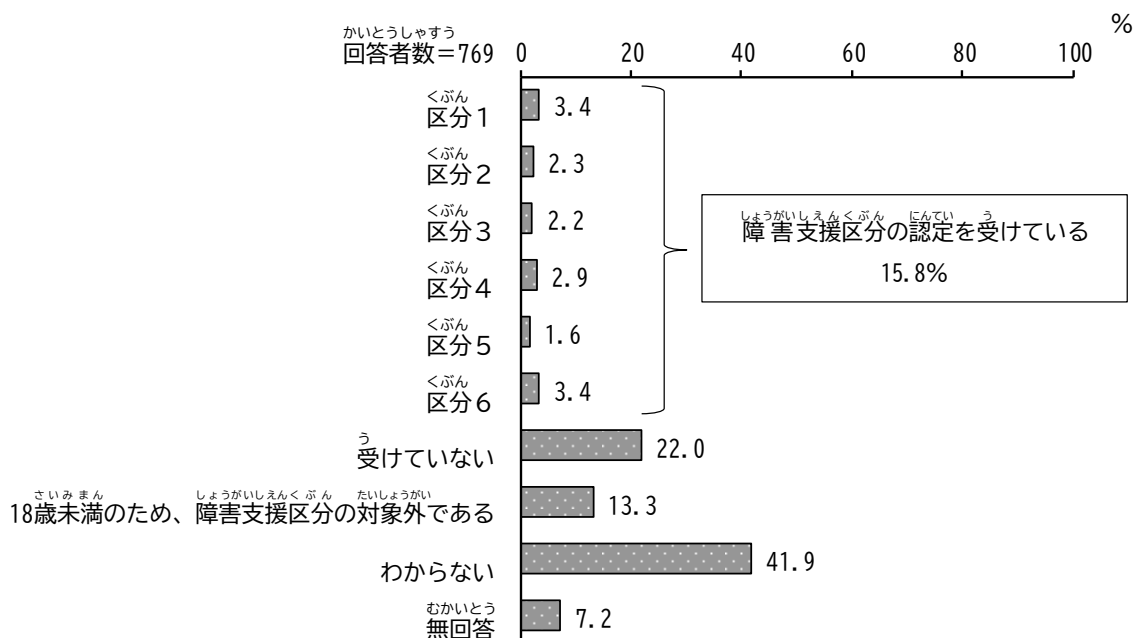
単位：％

		回答者数(件)	問34 災害に備えていても、不安に思うこと											
			避難所までたどり着けるか	避難所ではないか	停電で在宅医療機器が使えなくなる	風水害に対する対処方法がわからない	避難所がわからない	避難を支援してくれる人がいない	その他	特に不安に思うことはない	無回答			
問10 必要としている医療的ケア		769	32.8	34.9	36.0	20.4	36.2	12.7	9.2	8.3	13.3	11.2	13.0	8.8
問10 必要としている医療的ケア	医療的ケア等が必要	255	34.1	39.2	36.1	23.5	35.3	23.9	12.2	6.3	16.5	15.3	14.5	7.5
	医療的ケア等不要	514	32.1	32.7	36.0	18.9	36.6	7.2	7.8	9.3	11.7	9.1	12.3	9.5

以下の質問は、全員がお答えください。

問11 あなたの障害支援区分について、教えてください。（○は1つだけ）

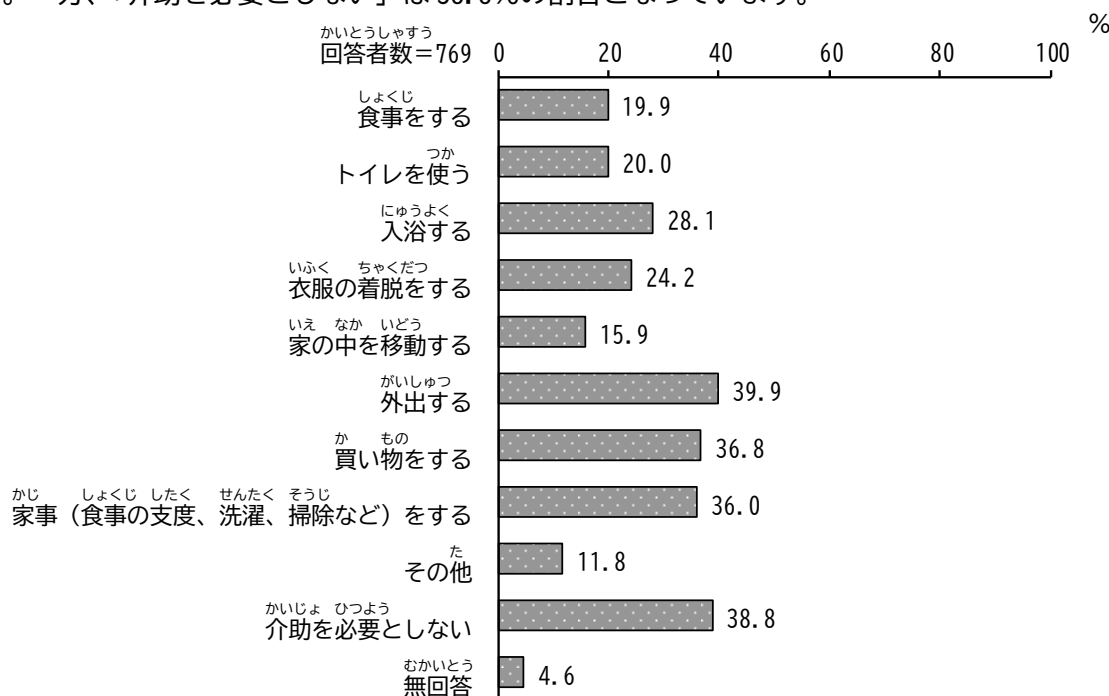
「難病」の診断を受けている方の中で障害支援区分の認定を受けている方は15.8%で、障害支援区分の内訳は、「区分1」「区分6」が3.4%、「区分4」が2.9%、「区分2」が2.3%等の順となっており、一方、「受けていない」の割合が22.0%と最も高くなっています。



ふだんの生活で困っていること、これからの困りごとについておたずねします

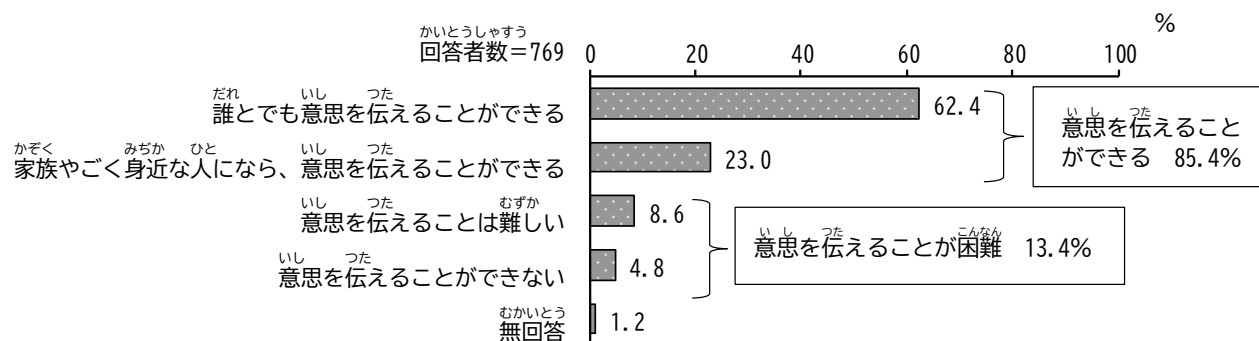
問12 あなたは、日常の生活に介助を必要としますか。介助を必要とする項目すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

日常の生活に介助を必要とする項目は、「外出する」の割合が39.9%と最も高く、次いで「買い物をする」の割合が36.8%、「家事（食事の支度、洗濯、掃除など）をする」の割合が36.0%となっています。一方、「介助を必要としない」は38.8%の割合となっています。



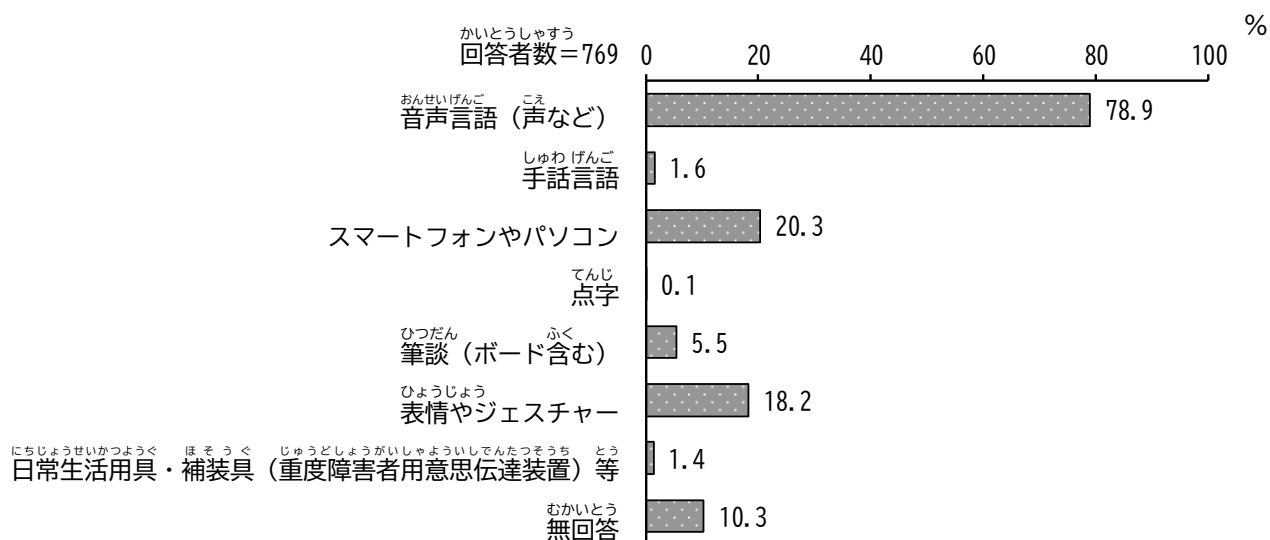
問13 あなたは、自分だけでまわりの人に意思を伝えることができますか。(○は1つだけ)

「誰とでも意思を伝えることができる」の割合が62.4%と最も高く、次いで「家族やごく身近な人になら、意思を伝えることができる」の割合が23.0%となっています。



問13-1 あなたはどのような方法で意思を伝えていますか。(○はいくつでも)

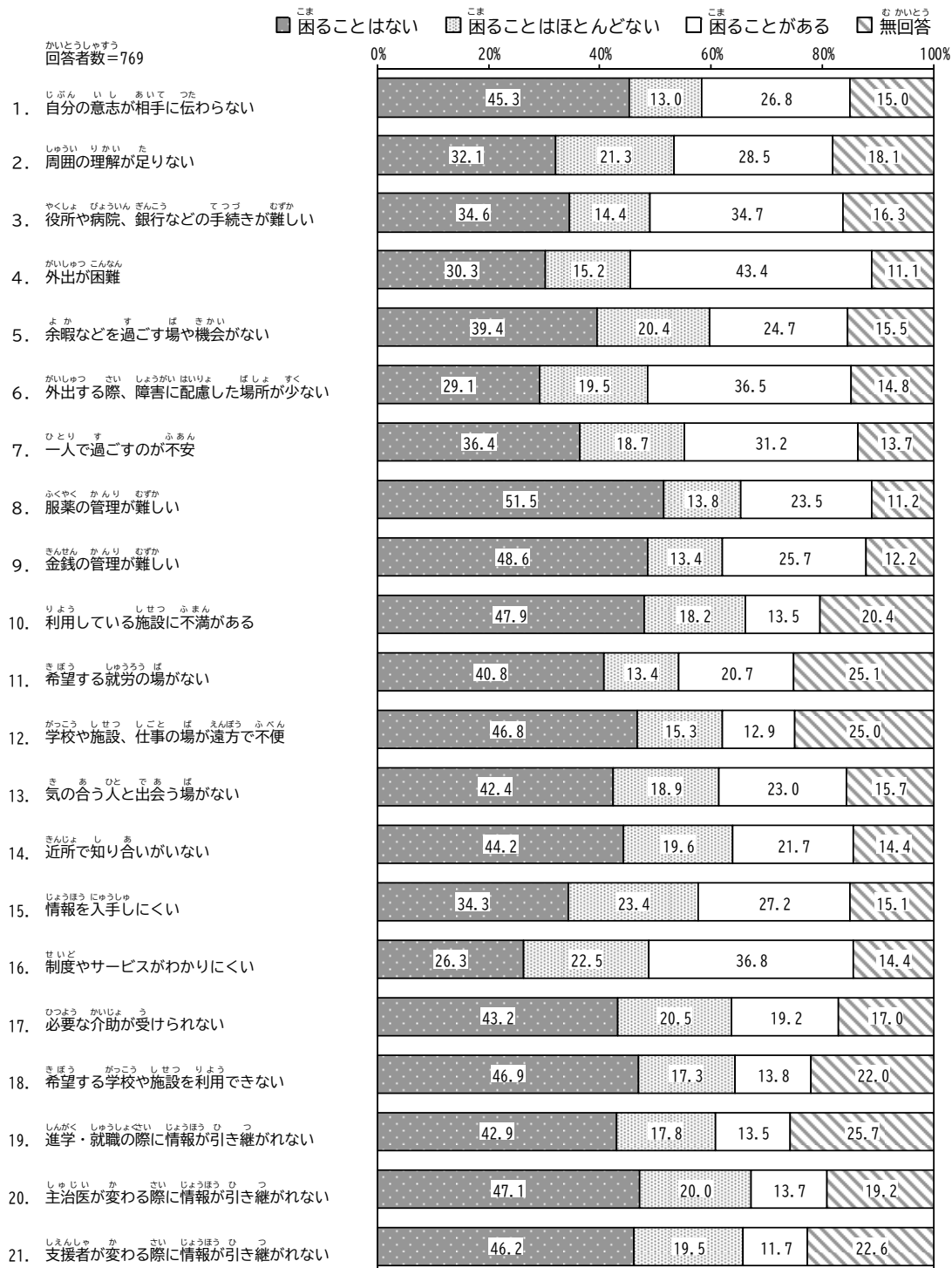
「音声言語 (声など)」の割合が78.9%と最も高く、次いで「スマートフォンやパソコン」の割合が20.3%、「表情やジェスチャー」の割合が18.2%となっています。



問14 「生活の中で困ること」について、①困りごとの有無、②困ったときの相談先を、教えてください。

①困りごとの有無（それぞれに○はひとつ）

生活の中で「困ることがある」の上位3項目は、「4. 外出が困難」、「16. 制度やサービスがわかりにくい」、「6. 外出する際、障害に配慮した場所が少ない」で、3割以上の方が挙げています。一方、「20. 主治医が変わる際に情報が引き継がれない」「21. 支援者が変わる際に情報が引き継がれない」「10. 利用している施設に不満がある」等は、6割以上の方が「困ることはない」「困ことはほとんどない」と回答しています。また、21項目中17項目で、5割以上の方が「困ることはない」「困ことはほとんどない」と回答しています。



②困ったときの相談先（それぞれに○はいくつでも）

※『①困りごとの有無』で「困りごとがある」と回答した回答者の、困ったときの相談先を表しています。

困った時の相談先としては、全ての項目で「家族」が最も高くなっています。

「11. 希望する就労の場がない」「18. 希望する学校や施設を利用できない」「19. 進学・就職の際に情報が引き継がれない」等に関することは、「相談先がわからない」の割合が高くなっています。

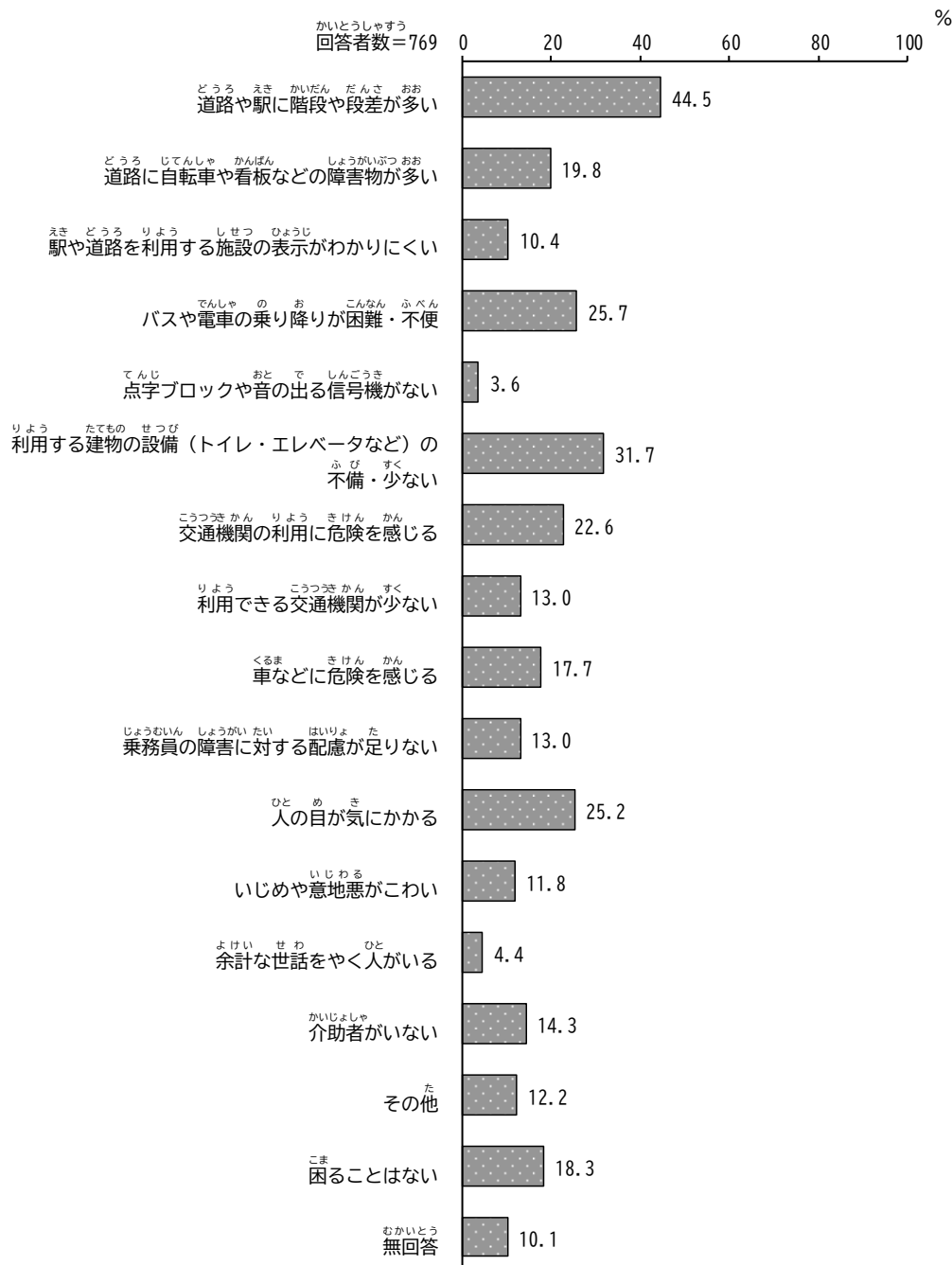
また、「13. 気の合う人と出会う場がない」「14. 近所で知り合いがいない」「21. 支援者が変わる際に情報が引き継がれない」に関することは、「相談する相手がいない」の割合が高くなっています。

単位：％

	回答者数 (件)	家族	友人	近所の人や自治会・町内会、民生委員等	支援者（医療機関・施設等の職員）	成年後見人等	当事者団体・親の会など	区役所（福祉保健センター）	基幹相談支援センター・生活支援センター	計画相談	地域ケアプラザ	地域療育センター	学校	相談先がわからない	相談する相手がいない	その他	無回答
1. 自分の意志が相手に伝わらない	206	74.3	7.8	2.9	32.5	1.5	1.9	6.8	1.9	9.2	2.4	5.3	10.7	1.5	1.9	7.8	8.7
2. 周囲の理解が足りない	219	64.4	12.3	1.4	24.7	0.5	2.3	6.4	1.8	4.1	0.9	2.7	8.2	4.6	6.8	7.3	10.5
3. 役所や病院、銀行などの手続きが難しい	267	71.2	7.5	1.9	19.9	1.1	0.7	15.0	1.1	4.1	1.9	1.9	1.5	2.2	2.6	3.7	9.0
4. 外出が困難	334	71.0	11.1	0.6	18.3	0.6	0.9	5.7	1.8	4.8	2.4	1.2	2.1	3.0	3.0	5.4	11.1
5. 余暇などを過ごす場や機会がない	190	62.6	12.1	1.1	16.8	0.0	1.6	4.7	2.1	5.8	1.6	0.5	1.6	4.7	5.3	6.8	12.6
6. 外出する際、障害に配慮した場所が少ない	281	56.9	10.0	0.7	14.2	0.0	2.5	5.7	1.1	3.6	1.8	1.1	2.1	7.5	6.4	6.8	16.7
7. 一人で過ごすのが不安	240	65.4	10.4	0.4	16.3	0.4	1.3	5.8	0.8	4.6	1.3	0.4	2.9	4.2	5.0	3.8	15.8
8. 服薬の管理が難しい	181	76.2	3.9	0.6	19.9	0.6	0.6	3.9	0.0	1.1	0.0	0.0	0.6	1.7	2.8	5.0	9.9
9. 金銭の管理が難しい	198	75.8	3.0	0.0	9.1	1.0	1.0	3.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.5	2.0	1.5	5.6	12.6
10. 利用している施設に不満がある	104	51.9	7.7	0.0	22.1	0.0	1.0	3.8	3.8	3.8	0.0	1.9	7.7	6.7	8.7	10.6	11.5
11. 希望する就労の場がない	159	44.0	8.2	0.6	16.4	0.0	1.3	7.5	1.9	5.7	0.6	0.0	8.8	13.2	10.1	11.9	18.9
12. 学校や施設、仕事の場が遠方で不便	99	55.6	9.1	0.0	15.2	0.0	1.0	4.0	3.0	6.1	0.0	1.0	5.1	6.1	9.1	14.1	15.2
13. 気の合う人と出会う場がない	177	40.1	10.2	0.6	7.9	0.0	1.7	2.8	1.1	5.1	0.0	0.0	2.8	11.9	14.7	8.5	23.2
14. 近所で知り合いがいない	167	40.1	4.2	2.4	5.4	0.0	0.6	2.4	0.0	3.6	0.0	0.0	0.6	8.4	13.2	10.2	28.1
15. 情報を入りにくい	209	43.1	7.2	0.5	17.7	0.0	2.4	17.7	2.4	6.7	1.9	1.9	3.8	8.6	8.6	8.6	19.6
16. 制度やサービスがわかりにくい	283	44.2	6.0	1.1	15.9	0.7	2.1	23.3	1.4	6.0	1.8	1.8	2.1	8.1	7.4	7.1	23.0
17. 必要な介助が受けられない	148	44.6	4.7	0.7	15.5	0.0	0.7	18.2	5.4	8.1	1.4	1.4	1.4	10.8	8.8	6.8	18.9
18. 希望する学校や施設を利用できない	106	43.4	3.8	2.8	12.3	0.0	0.9	13.2	2.8	11.3	0.0	0.0	9.4	12.3	10.4	14.2	16.0
19. 進学・就職の際に情報が引き継がれない	104	41.3	2.9	0.0	16.3	1.0	0.0	6.7	1.9	7.7	1.0	1.9	13.5	12.5	12.5	8.7	20.2
20. 主治医が変わる際に情報が引き継がれない	105	37.1	2.9	1.0	25.7	0.0	0.0	4.8	1.9	6.7	0.0	1.0	1.9	10.5	10.5	11.4	20.0
21. 支援者が変わる際に情報が引き継がれない	90	42.2	0.0	0.0	22.2	0.0	1.1	6.7	3.3	10.0	0.0	1.1	3.3	6.7	13.3	10.0	17.8

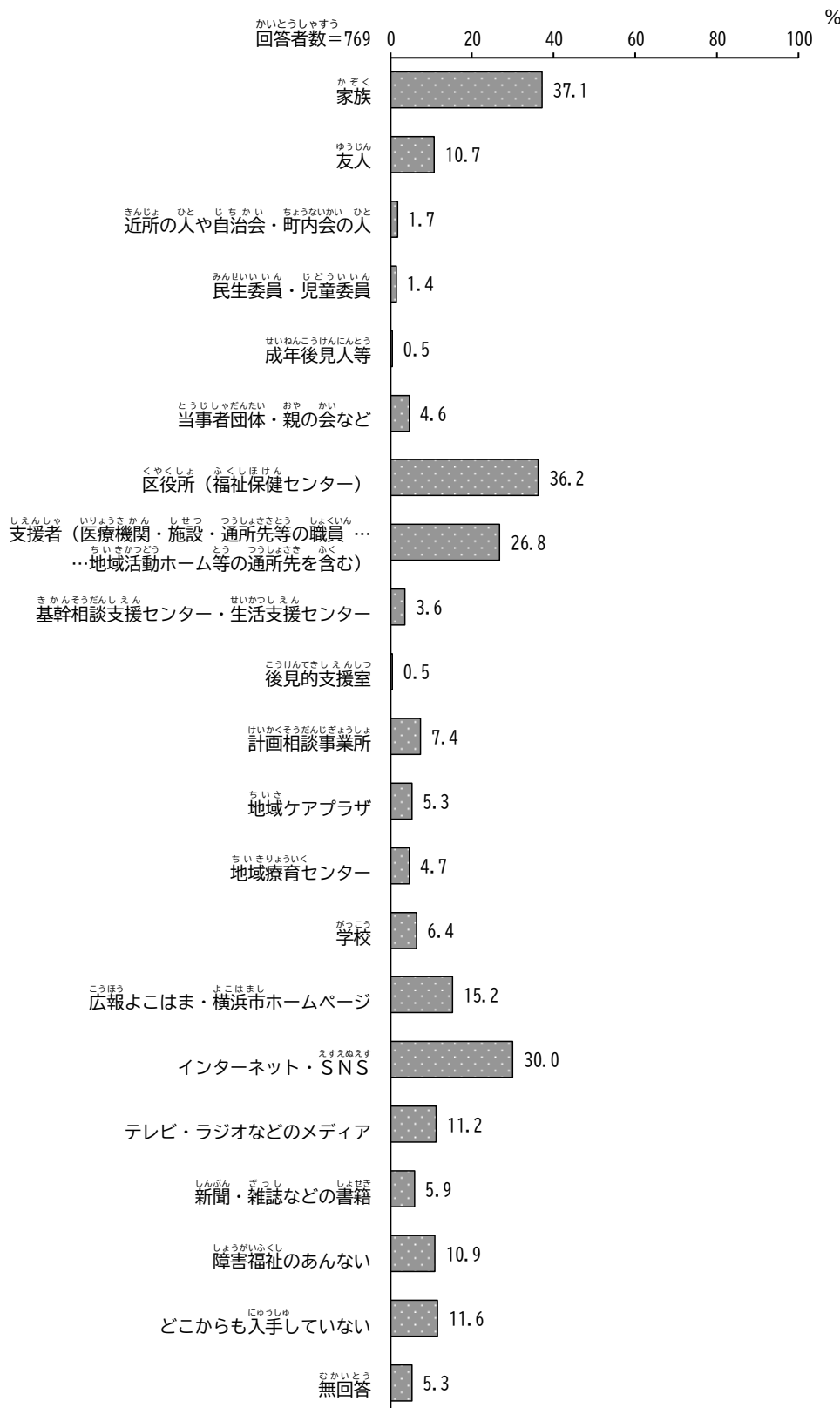
問15 普段の生活で外出する時や、外出したいと思う時に困ることはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が44.5%、「利用する建物の設備(トイレ・エレベータなど)の不備・少ない」が31.7%、「バスや電車の乗り降りが困難・不便」が25.7%の順に高くなっています。一方、「困ることはない」の割合は18.3%となっています。



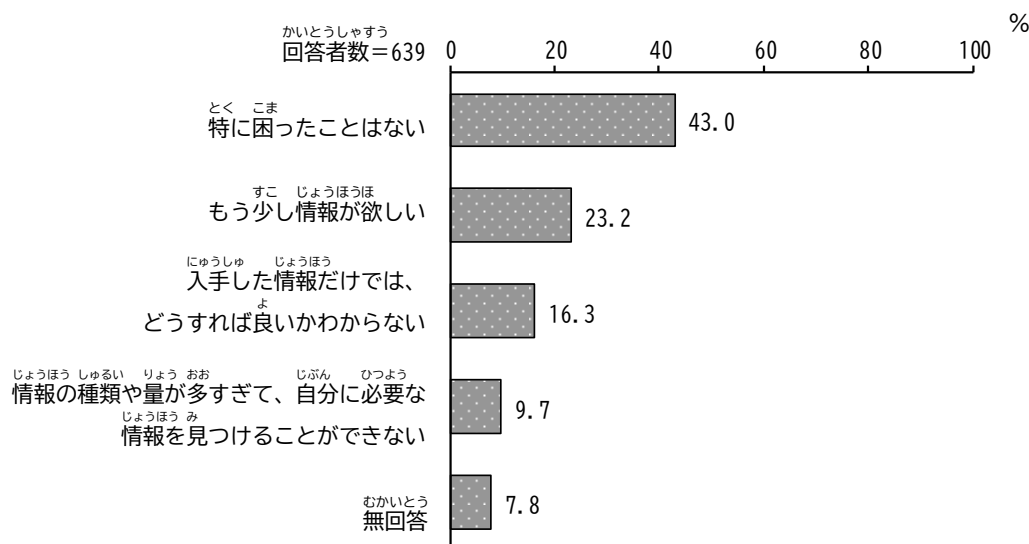
問16 現在、障害福祉にかかわる情報について、どこから（誰から）情報を入手していますか。（〇はいくつでも）

「家族」の割合が37.1%、「区役所（福祉保健センター）」が36.2%、「インターネット・SNS」が30.0%の順に高くなっています。一方、「どこからも入手していない」の割合は11.6%となっています。



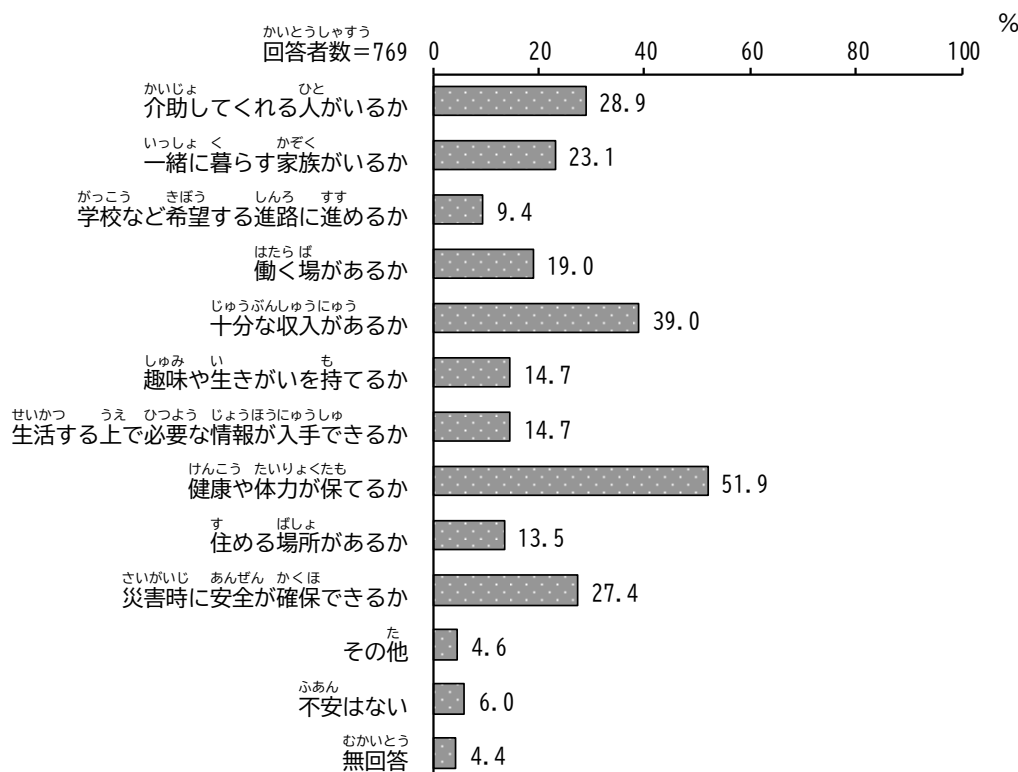
問16-1 問16の場所や人から入手した情報について、困ったことはありますか。(〇は1つだけ)

「特に困ったことはない」の割合が43.0%と最も高く、次いで「もう少し情報が欲しい」の割合が23.2%、「入手した情報だけでは、どうすれば良いかわからない」の割合が16.3%、「情報の種類や量が多すぎて、自分に必要な情報を見つけることができない」の割合が9.7%となっています。



問17 あなたは将来（6年後）に不安がありますか。とくに不安を感じることを次の中から3つまで選んで〇をつけてください。(〇は3つまで)

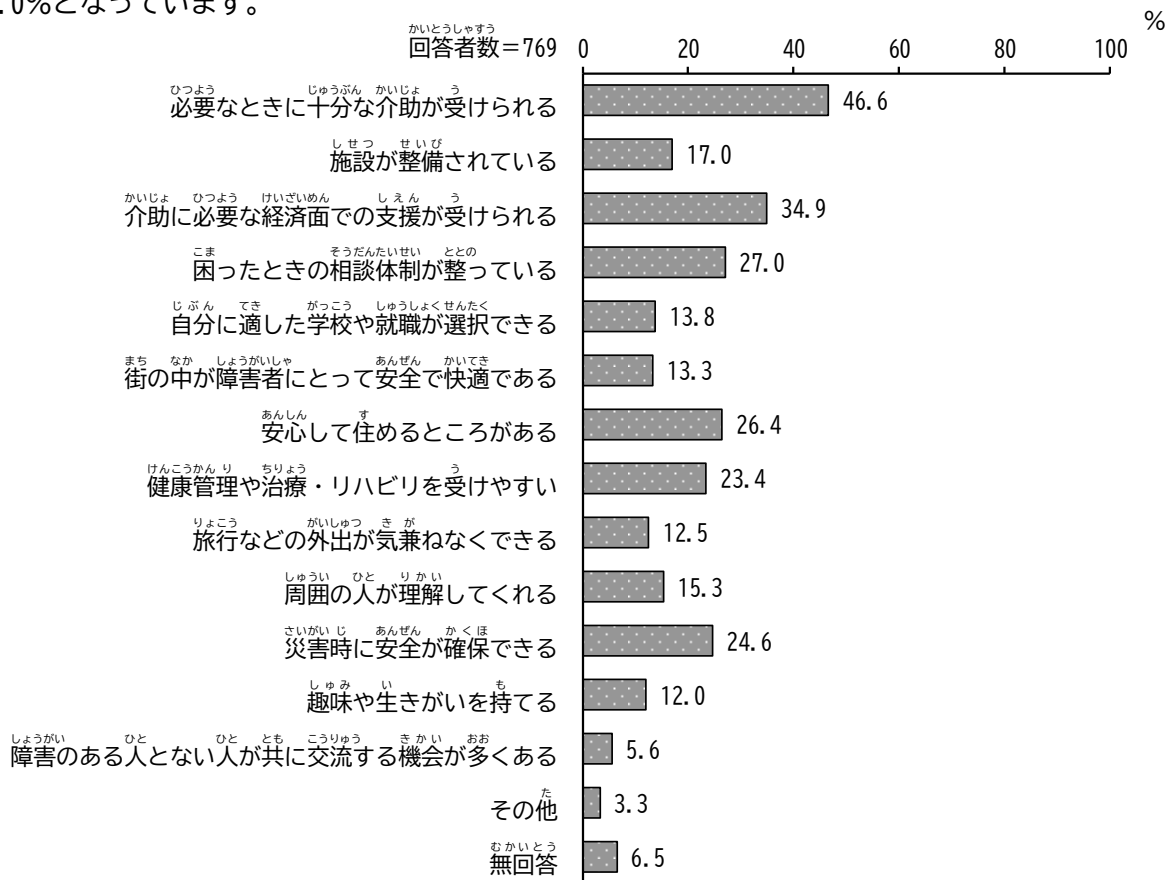
「健康や体力が保てるか」の割合が51.9%と最も高く、次いで「十分な収入があるか」の割合が39.0%、「介助してくれる人がいるか」の割合が28.9%となっています。



問18 将来（6年後）の理想の社会や生活を考えたとき、あなたが特に重要と思うものに3つまで○をつけてください。（○は3つまで）

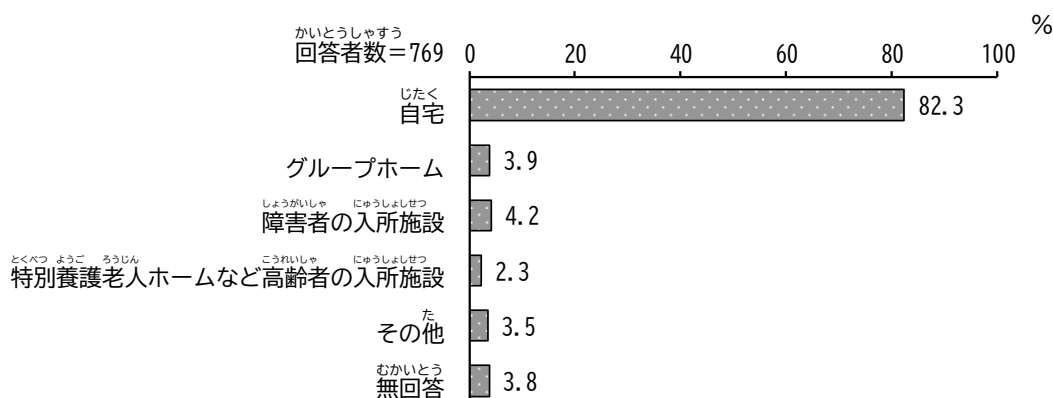
※障害者プランの計画期間が6年間のため、6年後の近い将来についてお聞きします。

「必要なときに十分な介助が受けられる」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「介助に必要な経済面での支援が受けられる」の割合が 34.9%、「困ったときの相談体制が整っている」の割合が 27.0%となっています。



問19 あなたは将来（6年後）どこで生活したいと考えますか。（○は1つだけ）

「自宅」の割合が 82.3%と最も高くなっています。「障害者の入所施設」「グループホーム」「特別養護老人ホームなど高齢者の入所施設」は1割以下で拮抗しています。



【記入者別と将来生活したいところのクロス】

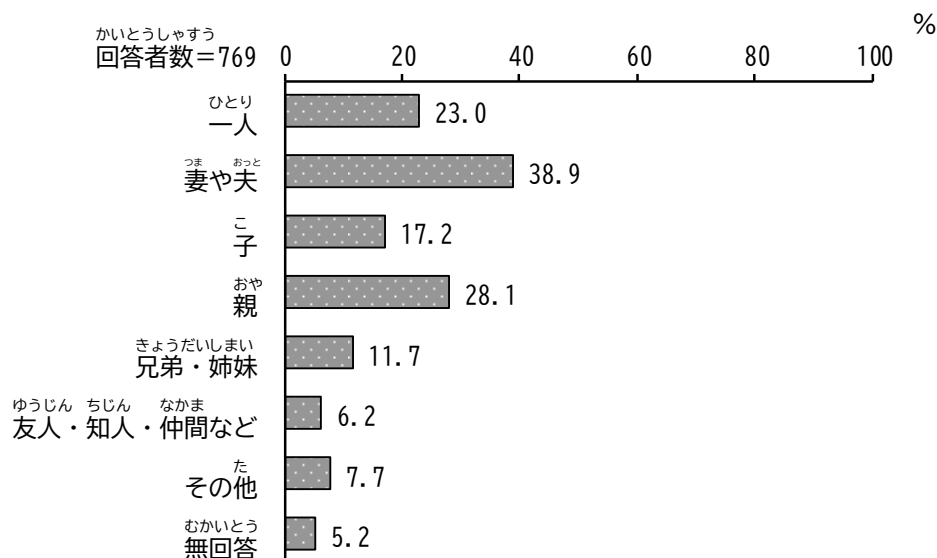
記入者別にみると、「ご本人」、「ご家族」で「自宅」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問19 将来、生活したいところ					
			自宅	グループホーム	障害者の入所施設	高齢者の入所施設 特別養護老人ホームなど	その他	無回答
全 体		769	82.3	3.9	4.2	2.3	3.5	3.8
問1 アンケート記入者	ご本人	496	88.5	2.2	2.2	1.4	3.6	2.0
	ご家族	248	73.4	6.9	8.1	3.2	2.0	6.5
	支援者（施設・医療機関の職員等）	9	33.3	11.1	0.0	11.1	33.3	11.1
	成年後見人等	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	4	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

問19-1 将来（6年後）どなたと暮らしたいですか。（○はいくつでも）

「妻や夫」の割合が38.9％と最も高く、次いで「親」の割合が28.1％、「一人」の割合が23.0％となっています。



【記入者別と将来暮らしたい人のクロス】

記入者別にみると、「ご本人」で「妻や夫」、「ご家族」で「親」、「支援者（施設・医療機関の職員等）」で「一人」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問19-1 将来、暮らしたい人							
			一人	妻や夫	子こ	親おや	兄弟・姉妹	仲間など	友人・知人・その他	無回答
全 体		769	23.0	38.9	17.2	28.1	11.7	6.2	7.7	5.2
問1 アンケート記入者	ご本人	496	30.6	50.2	22.6	12.9	4.8	5.0	6.7	3.4
	ご家族	248	7.3	19.0	8.1	59.7	25.4	7.7	8.9	7.3
	支援者（施設・医療機関の職員等）	9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	44.4	11.1
	成年後見人等	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	その他	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0

【居住別と将来暮らしたい人のクロス】

居住別にみると、「自宅（親など家族と同居）」では「妻や夫」、「自宅（一人暮らし）」では「一人」、「病院（入院中）」では「親」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問19-1 将来、暮らしたい人							
			一人	妻や夫	子こ	親	兄弟・姉妹	仲間など	友人・知人・その他	無回答
全 体		769	23.0	38.9	17.2	28.1	11.7	6.2	7.7	5.2
問3 現在暮らしている場所	自宅（親など家族と同居）	579	11.6	47.3	20.4	35.4	14.5	5.9	5.2	4.5
	自宅（一人暮らし）	130	69.2	13.8	8.5	0.8	3.1	7.7	10.0	3.8
	グループホーム	14	50.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	35.7	14.3
	障害児・者の入所施設（児童養護施設を含む）	8	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0
	高齢者施設、高齢者向け住宅	17	47.1	17.6	11.8	0.0	0.0	11.8	23.5	0.0
	病院（入院中）	12	16.7	16.7	8.3	50.0	16.7	8.3	33.3	8.3

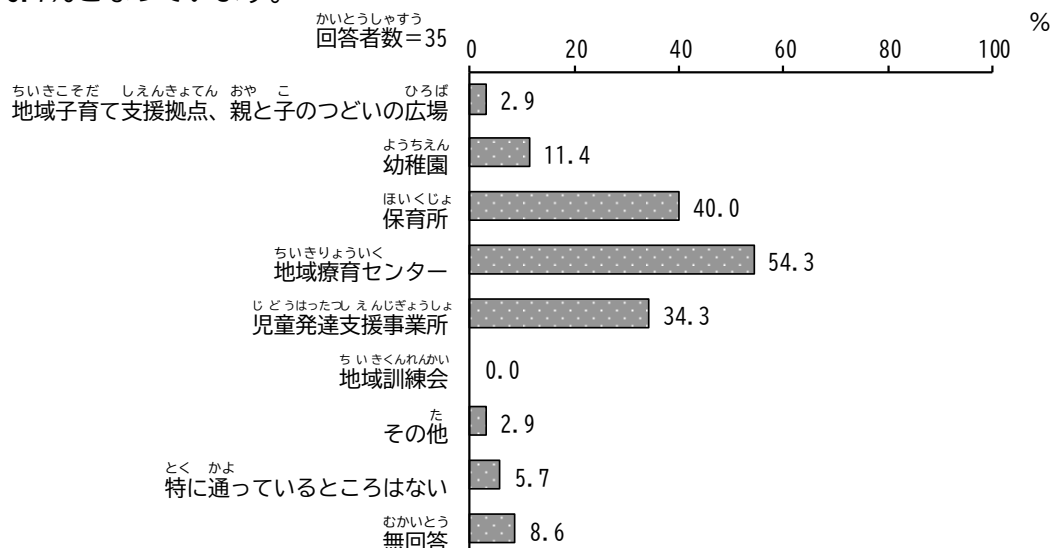
あなたの地域での生活状況についておたずねします

問20 あなたが普段通っている場所について教えてください。（〇はいくつでも）

※年齢について無回答の方は、年齢区分別の回答者数に含めていません。

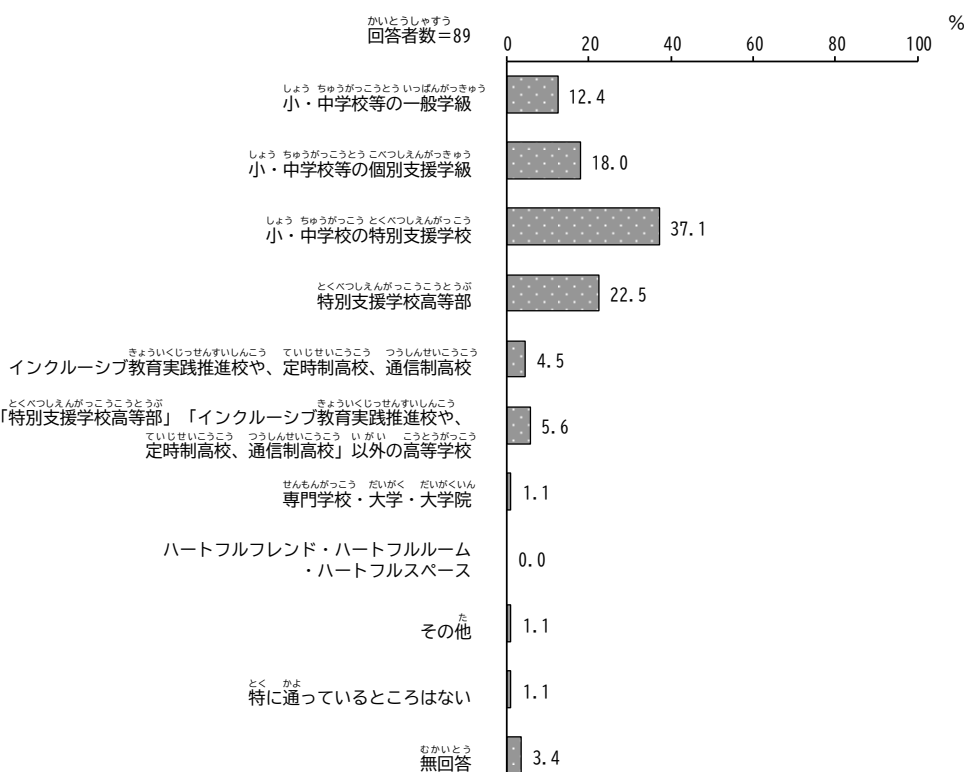
【未就学（おおむね6歳まで）の方】

「未就学（おおむね6歳まで）の方」では、「地域療育センター」が54.3%、「保育所」が40.0%、「児童発達支援事業所」が34.3%の順となっており、一方、「特に通っているところはない」の割合は5.7%となっています。



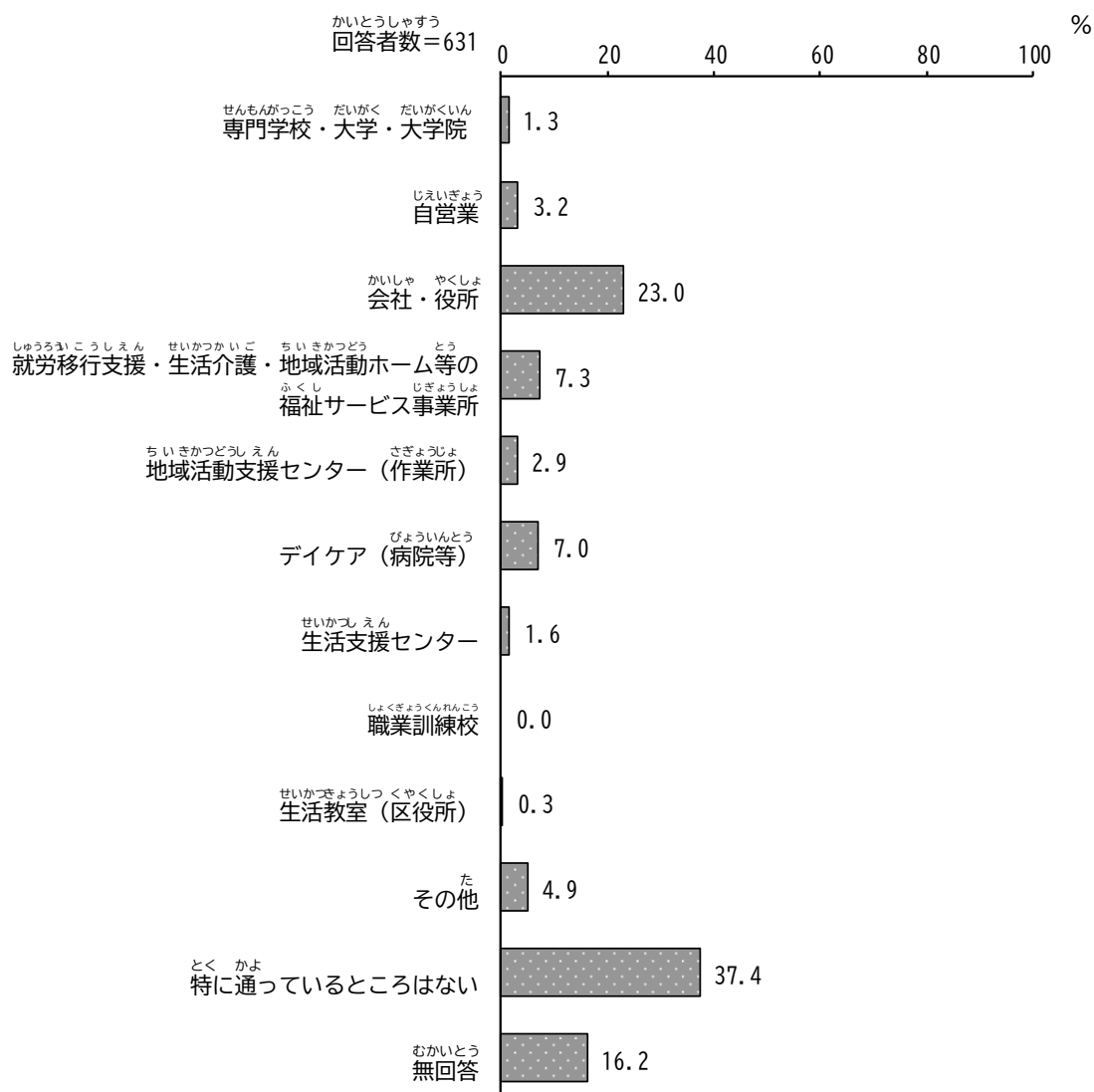
【学齢期（おおむね18歳まで）の方】

「学齢期（おおむね18歳まで）の方」では、「小・中学校の特別支援学校」が37.1%、「特別支援学校高等部」が22.5%、「小・中学校等の個別支援学級」が18.0%の順となっており、一方、「特に通っているところはない」の割合は1.1%となっています。



【青年期（おおむね18歳以上）以降の方】

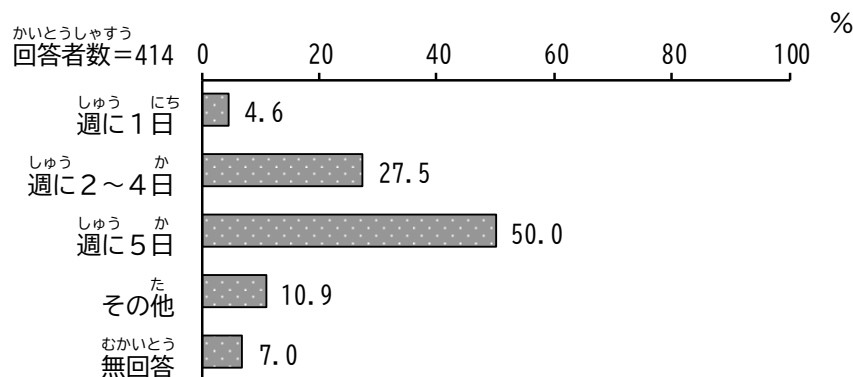
「青年期（おおむね18歳以上）以降の方」では、「会社・役所」が23.0%、「就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所」が7.3%の順となっており、一方、「特に通っているところはない」の割合は37.4%となっています。



※次からの設問（問20－1～問20－7）は、最も多く通っているところについてお答えください。

問20－1 利用の回数は、週に何回ですか。（○は1つだけ）

「週に5日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「週に2～4日」の割合が 27.5%、「週に1日」の割合が 4.6%となっています。



【年齢区分別と利用回数のクロス】

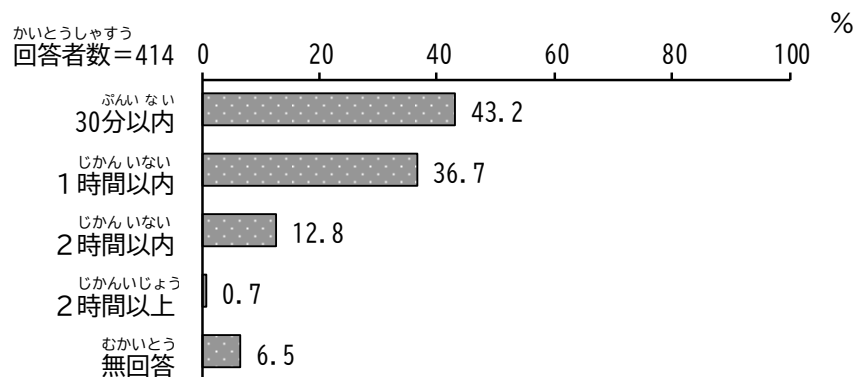
年齢区分別にみると、「未就学」「学齢期」「青年期」について「週に5日」の割合がそれぞれ 63.1%、80.0%、55.6%と、最も高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問20－1 普段通っている場所の利用回数は、週に何回か				
			週に1日	週に2～4日	週に5日	その他	無回答
全体		414	4.6	27.5	50.0	10.9	7.0
問2 年齢	未就学	30	3.3	30.0	63.3	3.3	0.0
	学齢期	85	1.2	10.6	80.0	3.5	4.7
	青年期	72	1.4	25.0	55.6	12.5	5.6

問20-2 通園・通学・通勤・通所には片道でどのくらいの時間がかかりますか。最も多く通
 っているところについてお答えください。（○は1つだけ）

「30分以内」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「1時間以内」の割合が 36.7%、「2時間以内」
 の割合が 12.8%となっています。



【年齢区分別と通学・通勤等時間】

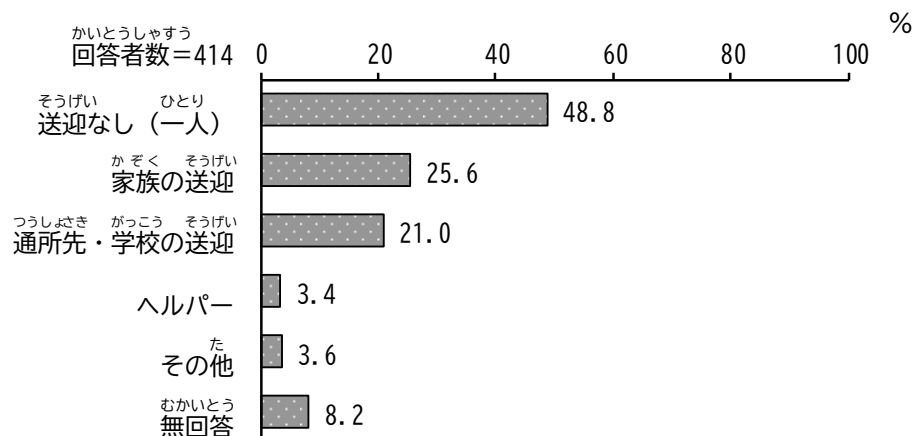
年齢区分別にみると、年齢区分が上がるほど「1時間以内」「2時間以内」の割合が高く、「30分以内」
 の割合が低くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	30分以内	1時間以内	2時間以内	2時間以上	無回答
問20-2 通園・通学・通勤・通所には片道でどのくらいの時間がかかるか							
全体		414	43.2	36.7	12.8	0.7	6.5
問2 年齢	未就学	30	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	学齢期	85	57.6	36.5	4.7	0.0	1.2
	青年期	72	37.5	43.1	13.9	0.0	5.6

問20-3 通園・通学・通勤・通所に送迎がありますか。(〇はいくつでも)

「送迎なし（一人）」の割合が48.8%と最も高く、次いで「家族の送迎」の割合が25.6%、「通所先・学校の送迎」の割合が21.0%となっています。



【年齢区分別と通勤・通学等の送迎のクロス】

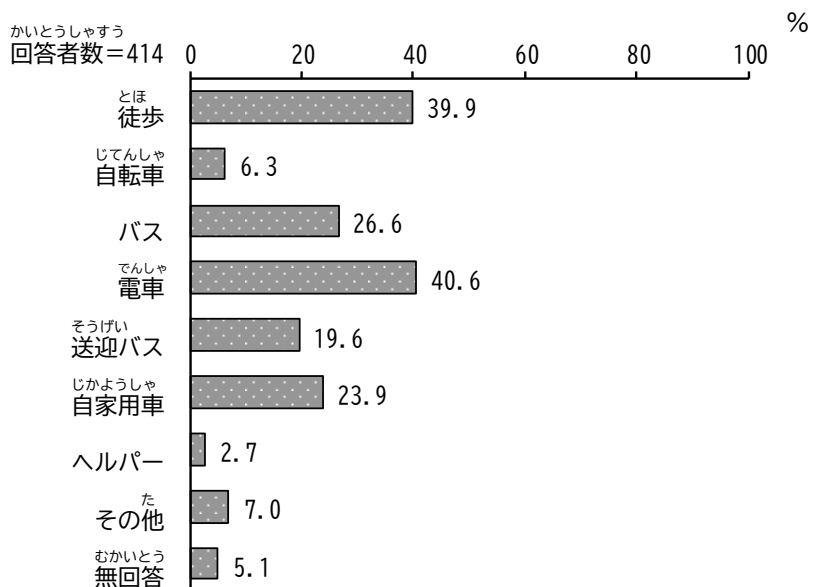
年齢区分別にみると、「未就学」では「家族の送迎」が76.7%、「学齢期」では「家族の送迎」が52.9%、「青年期」では「送迎なし（一人）」が56.9%で高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問20－3 通園・通学・通勤・通所に送迎があるか					無回答
			(二人)送迎なし	家族の送迎	学校の送迎	通所先・ヘルパー	その他	
全 体		414	48.8	25.6	21.0	3.4	3.6	8.2
問2 年齢	未就学	30	3.3	76.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	学齢期	85	20.0	52.9	43.5	8.2	4.7	2.4
	青年期	72	56.9	25.0	13.9	2.8	1.4	8.3

問20－4 現在、通園・通学・通勤・通所のときには、何を利用していますか。
(〇はいくつでも)

「電車」の割合が40.6%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が39.9%、「バス」の割合が26.6%となっています。



【年齢区分別と通学・通勤等に利用するもののクロス】

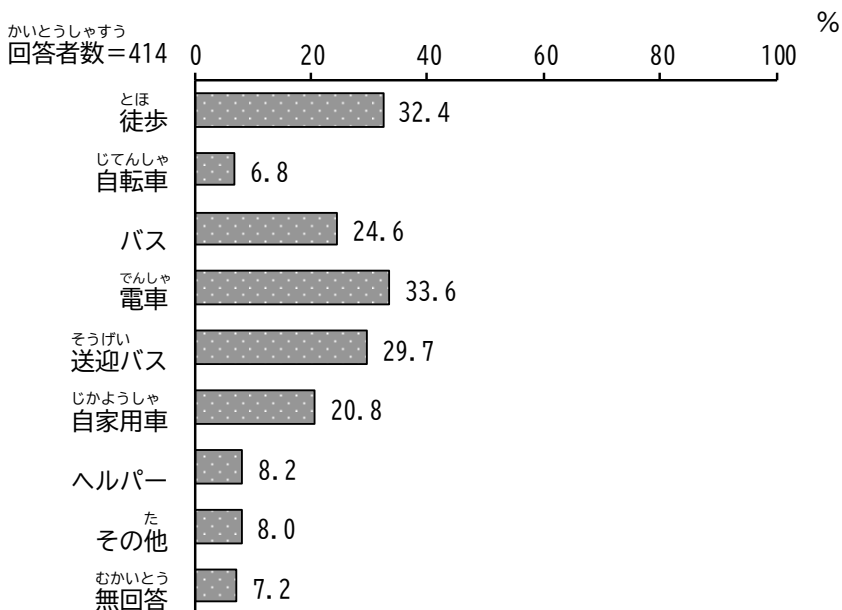
年齢区分別にみると、「未就学」では「自家用車」が53.3%、「学齢期」では「徒歩」が41.2%、「青年期」では「電車」が55.6%で高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問20－4 通園・通学・通勤・通所時に利用するもの								
			徒歩	自転車	バス	電車	送迎バス	自家用車	ヘルパー	その他	無回答
全 体		414	39.9	6.3	26.6	40.6	19.6	23.9	2.7	7.0	5.1
問2 年齢	未就学	30	16.7	23.3	3.3	6.7	36.7	53.3	0.0	10.0	0.0
	学齢期	85	41.2	5.9	12.9	17.6	35.3	31.8	8.2	9.4	1.2
	青年期	72	47.2	0.0	30.6	55.6	12.5	27.8	2.8	5.6	5.6

問20-5 今後、通園・通学・通勤・通所のときには、できれば何を利用したいですか。
(○はいくつでも)

「電車」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 32.4%、「送迎バス」の割合が 29.7%となっています。



【年齢区分別と通学・通勤等を利用したいもののクロス】

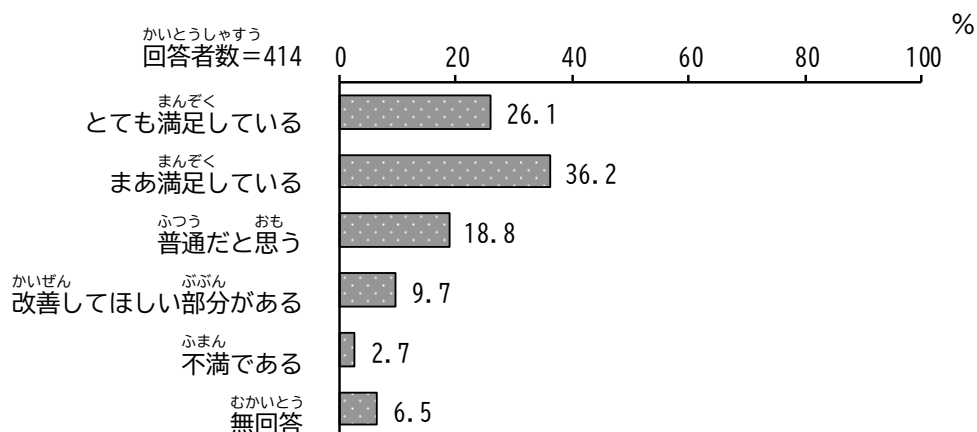
年齢区分別にみると、「未就学」では「送迎バス」が 60.0%、「学齢期」では「送迎バス」が 47.1%、「青年期」では「電車」が 48.6%で高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20-5 通園・通学・通勤・通所時に利用したいもの								
		徒歩	自転車	バス	電車	送迎バス	自家用車	ヘルパー	その他	無回答
全体	414	32.4	6.8	24.6	33.6	29.7	20.8	8.2	8.0	7.2
問2 年齢	未就学	30	16.7	10.0	6.7	60.0	30.0	20.0	6.7	6.7
	学齢期	85	35.3	7.1	21.2	47.1	14.1	20.0	9.4	2.4
	青年期	72	40.3	2.8	30.6	22.2	18.1	6.9	4.2	8.3

問20-6 主に利用している学校、仕事の間、施設（問20の回答）には満足していますか。
（○は1つだけ）

「とても満足している」「まあ満足している」を合わせた「満足している」の割合が62.3%となっています。



【年齢区分別と通学・通勤先の満足度のクロス】

年齢区分別にみると、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた「満足している」は、「未就学」で83.3%、「学齢期」で76.5%、「青年期」では72.2%となっています。一方、「学齢期」で「改善してほしい部分がある」が11.8%と他より高くなっています。

		回答者数 (件)	問20－6 主に利用している学校、仕事の間、施設の満足度					
			している	とても満足 している	まあ満足 している	普通だと思 う	ある 改善してほ しい部分 がある	不満である
全 体		414	26.1	36.2	18.8	9.7	2.7	6.5
問2 年齢	未就学	30	40.0	43.3	10.0	0.0	0.0	6.7
	学齢期	85	36.5	40.0	8.2	11.8	2.4	1.2
	青年期	72	26.4	45.8	13.9	6.9	1.4	5.6

【普段通っているところ別（未就学）と満足度のクロス】

普段通っているところ別にみると、「未就学」では「幼稚園」「保育所」「地域療育センター」で「とても満足している」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事、施設、施設の満足度					
			とても満足している	まあ満足している	普通だと思う	改善してほしい部分がある	不満である	無回答
ぜん 体		414	26.1	36.2	18.8	9.7	2.7	6.5
問20 普段通っているところ（未就学）	地域子育て支援拠点、 親と子のつどいの広場	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	幼稚園	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	保育所	14	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
	地域療育センター	19	47.4	47.4	5.3	0.0	0.0	0.0
	児童発達支援事業所	12	33.3	41.7	8.3	0.0	0.0	16.7
	地域訓練会	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

【普段通っているところ別（学齢期）と満足度のクロス】

普段通っているところ別にみると、「学齢期」では、「特別支援学校高等部」「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校以外の高等学校」以外の高等学校」「小・中学校の特別支援学校」で「とても満足している」の割合が高くなっています。また、「小・中学校等の個別支援学級」は、満足度も高い一方、「改善して欲しい部分がある」の割合も比較的高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事、施設、 満足度									
			している	とても満足	ている	まあ満足し	普通だと思	ある	しい部分	改善してほ	不満である	無回答
全 体		414	26.1	36.2	18.8	9.7	2.7	6.5				
問20 普段通っているところ（学齢期）	小・中学校等の一般学級	11	9.1	54.5	18.2	9.1	0.0	9.1				
	小・中学校等の個別支援学級	17	17.6	41.2	11.8	29.4	0.0	0.0				
	小・中学校の特別支援学校	33	51.5	39.4	3.0	6.1	0.0	0.0				
	特別支援学校高等部	20	35.0	40.0	10.0	10.0	5.0	0.0				
	インクルーシブ教育実践推進校 や、定時制高校、通信制高校	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0				
	「特別支援学校高等部」「イン クルーシブ教育実践推進校 や、定時制高校、通信制高校」 以外の高等学校	5	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0				
	専門学校・大学・大学院	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	ハートフルフレンド・ハートフル ルーム・ハートフルスペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0			

【普段通っているところ別（青年期）と満足度のクロス】

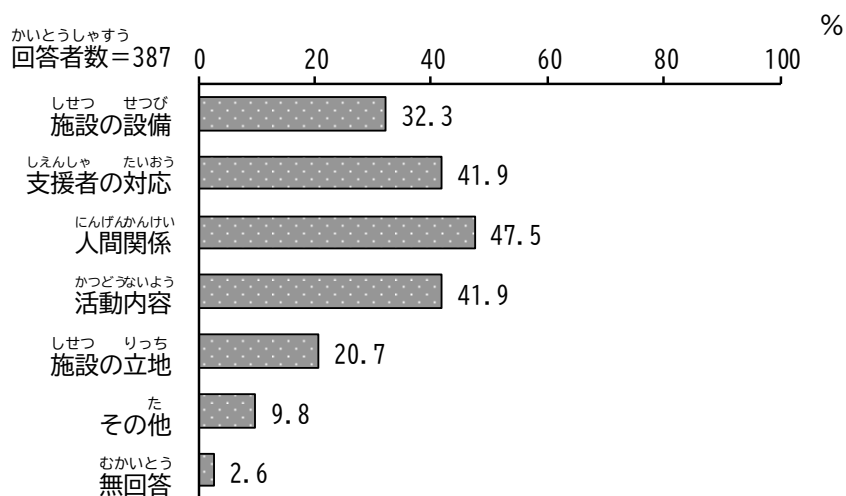
普段通っているところ別にみると、「青年期」では、「就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所」で「とても満足している」「まあ満足している」の割合が高く、「生活支援センター」で「不満である」の割合が比較的高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20-6 主に利用している学校、仕事の場、施設の満足度						
			している	とても満足 している	まあ満足し ている	う 普通だと思 える	改善してほ しい部分が ある	不満である	無回答
全 体		414	26.1	36.2	18.8	9.7	2.7	6.5	
問20 普段通 っているとこ ろ（青年期）	専門学校・大学・大学院	9	33.3	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	
	自営業	20	30.0	10.0	25.0	5.0	5.0	25.0	
	会社・役所	146	17.1	34.2	30.1	13.7	2.1	2.7	
	就労移行支援・生活介護・地域活動 ホーム等の福祉サービス事業所	47	31.9	46.8	10.6	6.4	2.1	2.1	
	地域活動支援センター（作業所）	18	11.1	61.1	22.2	5.6	0.0	0.0	
	デイケア（病院等）	46	17.4	32.6	21.7	8.7	6.5	13.0	
	生活支援センター	10	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	20.0	
	職業訓練校	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	生活教室（区役所）	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
	その他	31	25.8	25.8	19.4	6.5	3.2	19.4	

問20－7 問20－6で回答した理由を教えてください。(○はいくつでも)

「人間関係」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「支援者の対応」「活動内容」の割合がいずれも 41.9%、「施設の設備」の割合が 32.3%となっています。



【年齢区分別と満足度の理由のクロス】

年齢区分別にみると、「未就学」では「支援者の対応」が 82.1%、「学齢期」では「支援者の対応」が 66.7%、「青年期」では「活動内容」が 52.9%で高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問20－7 満足度の理由						
		施設の設備	支援者の対応	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答
全体	387	32.3	41.9	47.5	41.9	20.7	9.8	2.6
問2 年齢	未就学	28	35.7	82.1	46.4	64.3	28.6	0.0
	学齢期	84	35.7	66.7	46.4	50.0	20.2	1.2
	青年期	68	33.8	50.0	50.0	52.9	22.1	2.9

【普段通っているところ別（未就学）と満足度の理由のクロス】

普段通っているところ別にみると、「未就学」では、いずれの場所でも「支援者の対応」の割合が高く、次いで「保育所」「地域養育センター」「児童発達支援事業所」で「活動内容」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20－7 満足度の理由						
			施設の設備	支援者の対応	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答
全 体		387	32.3	41.9	47.5	41.9	20.7	9.8	2.6
問20 普段通っているところ（未就学）	地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	幼稚園	4	75.0	75.0	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	保育所	14	35.7	78.6	35.7	57.1	28.6	0.0	0.0
	地域療育センター	19	21.1	89.5	42.1	63.2	26.3	0.0	0.0
	児童発達支援事業所	10	40.0	100.0	40.0	60.0	10.0	0.0	0.0
	地域訓練会	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	3	0.0	33.3	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0

【普段通っているところ別（学齢期）と満足度の理由のクロス】

普段通っているところ別にみると、「学齢期」では、「小・中学校の特別支援学校」「特別支援学校高等部」で「支援者の対応」、「小・中学校等の一般学級」で「人間関係」、「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」で「活動内容」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20－7 満足度の理由						
			施設の設備	支援者の対応	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答
全 体		387	32.3	41.9	47.5	41.9	20.7	9.8	2.6
問20 普段通っているところ（学齢期）	小・中学校等の一般学級	10	50.0	60.0	60.0	30.0	30.0	0.0	0.0
	小・中学校等の個別支援学級	17	29.4	58.8	41.2	47.1	17.6	5.9	0.0
	小・中学校の特別支援学校	33	30.3	81.8	54.5	60.6	18.2	3.0	0.0
	特別支援学校高等部	20	50.0	75.0	50.0	45.0	15.0	5.0	0.0
	インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校	4	50.0	50.0	50.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	「特別支援学校高等部」「インクルーシブ教育実践推進校や、定時制高校、通信制高校」以外の高等学校	5	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0
	専門学校・大学・大学院	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	ハートフルフレンド・ハートフルルーム・ハートフルスペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【普段通っているところ別（青年期）と満足度の理由のクロス】

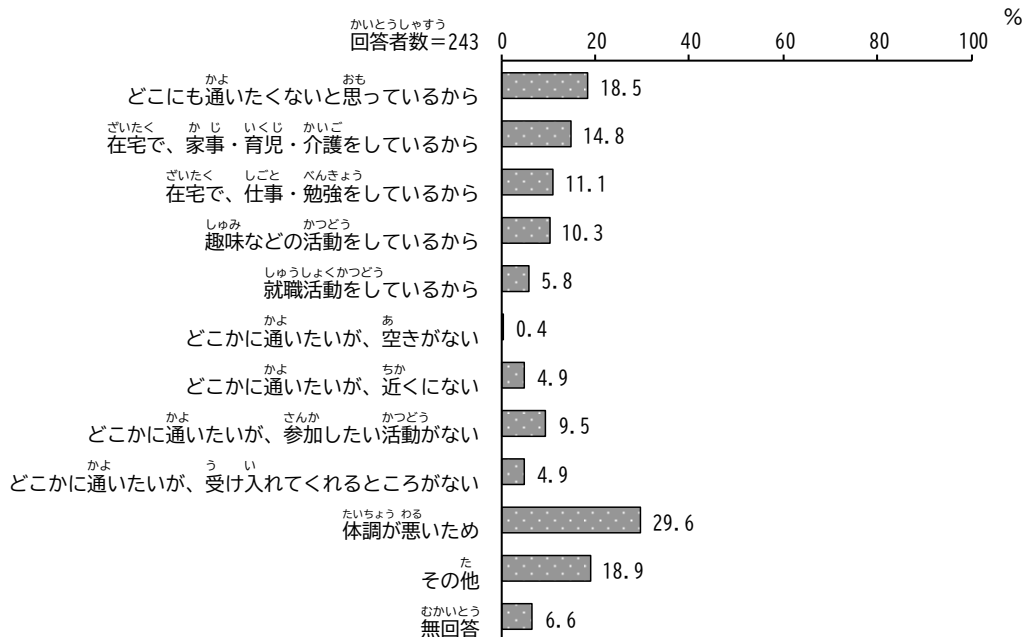
普段通っているところ別にみると、「青年期」では、「就労移行支援・生活介護・地域活動ホーム等の福祉サービス事業所」で「支援者の対応」「活動内容」の割合が高くなっており、「専門学校・大学・大学院」「自営業」「会社・役所」「地域活動支援センター」では「人間関係」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問20－7 満足度の理由						
			施設の設備	支援者の対応	人間関係	活動内容	施設の立地	その他	無回答
全 体		387	32.3	41.9	47.5	41.9	20.7	9.8	2.6
問20 普段通 っているところ（青年期）	専門学校・大学・ 大学院	9	33.3	22.2	55.6	22.2	22.2	11.1	11.1
	自営業	15	20.0	13.3	53.3	40.0	20.0	26.7	0.0
	会社・役所	142	30.3	11.3	57.7	34.5	23.2	14.1	2.8
	就労移行支援・ 生活介護・地域 活動ホーム等の 福祉サービス 事業所	46	26.1	71.7	32.6	54.3	15.2	2.2	2.2
	地域活動支援セン ター（作業所）	18	33.3	55.6	55.6	50.0	16.7	5.6	5.6
	デイケア（病院 等）	40	40.0	50.0	27.5	25.0	22.5	12.5	5.0
	生活支援センター	8	25.0	37.5	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0
	職業訓練校	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	生活教室（区 役所）	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	25	24.0	16.0	36.0	40.0	20.0	28.0	4.0

問20-8 問20で「特に通っているところはない」と答えた方は、通っていない理由を教えてください。（○はいくつでも）

「体調が悪いため」の割合が29.6%と最も高く、次いで「どこにも通いたくないと思っているから」の割合が18.5%、「在宅で、家事・育児・介護をしているから」の割合が14.8%となっています。



【年齢区分別とどこにも通っていない理由のクロス】

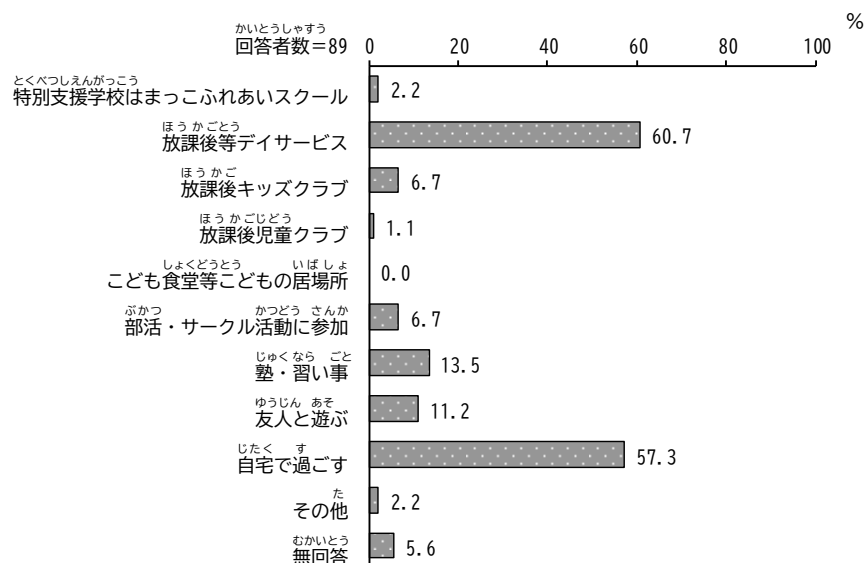
年齢区分別にみると、「青年期」では、「体調が悪いため」の割合が40.9%、「就職活動をしているから」が18.2%の順に高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問20-8 普段どこにも通っていない理由												
			いるから	どこにも通いたくない と思っているから	在宅で、家事・育児・ 介護をしているから	在宅で、仕事・勉強 をしているから	趣味などの活動をして いるから	就職活動をしている から	どこかに通いたい が、空気がない	どこかに通いたい が、近くにない	どこかに通いたい が、参加したい活動 がない	どこかに通いたい が、受け入れてく れるところがない	体調が悪い ため	その他	無回答
ぜん 体		243	18.5	14.8	11.1	10.3	5.8	0.4	4.9	9.5	4.9	29.6	18.9	6.6	
問2 年齢	未就学	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
	学齢期	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	青年期	22	9.1	13.6	13.6	13.6	18.2	0.0	13.6	13.6	0.0	40.9	22.7	9.1	

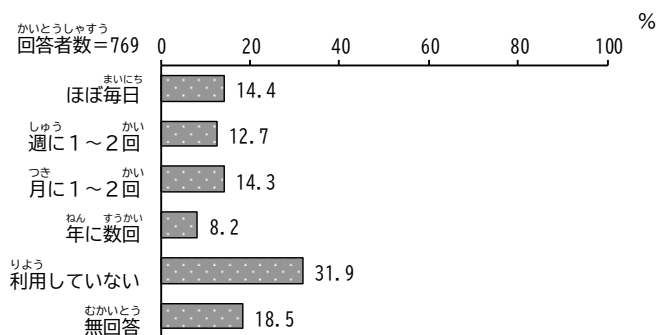
問21 学齢期（小・中・高校など）の方におたずねします。放課後は主にどのように過ごしていますか。（〇はいくつでも）

「放課後等デイサービス」の割合が60.7%と最も高く、次いで「自宅で過ごす」の割合が57.3%、「塾・習い事」の割合が13.5%となっています。



問22 あなたは福祉特別乗車券をどのくらい利用していますか。（〇は1つだけ）

「利用していない」の割合が31.9%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が14.4%、「月に1～2回」の割合が14.3%となっています。



【年齢区分別と福祉特別乗車券をどのくらい利用しているかのクロス】

年齢区分別にみると、年齢区分が上がるほど「ほぼ毎日」「週に1～2回」の割合が高く、「利用していない」の割合が低くなっています。

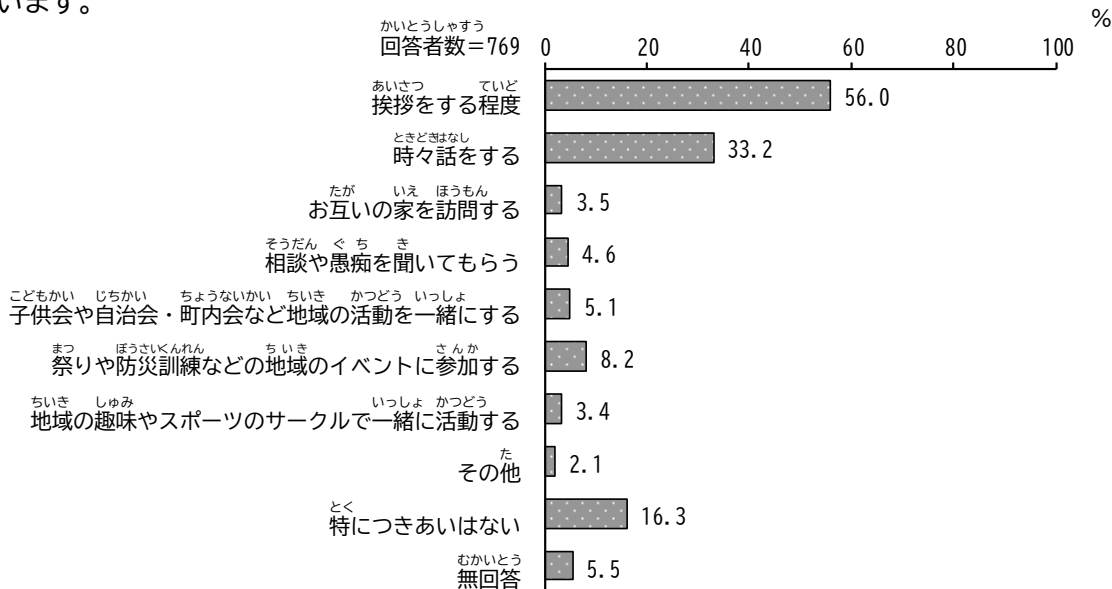
単位：%

		回答者数 (件)	問22 福祉特別乗車券をどのくらい利用しているか					
			ほぼ毎日	1～2週に	1～2月に	年に数回	利用していない	無回答
全 体		769	14.4	12.7	14.3	8.2	31.9	18.5
問2 年齢	未就学	35	0.0	0.0	5.7	11.4	54.3	28.6
	学齢期	89	7.9	7.9	13.5	14.6	52.8	3.4
	青年期	100	21.0	14.0	11.0	6.0	35.0	13.0

近所の人とおつきあいや余暇についておたずねします

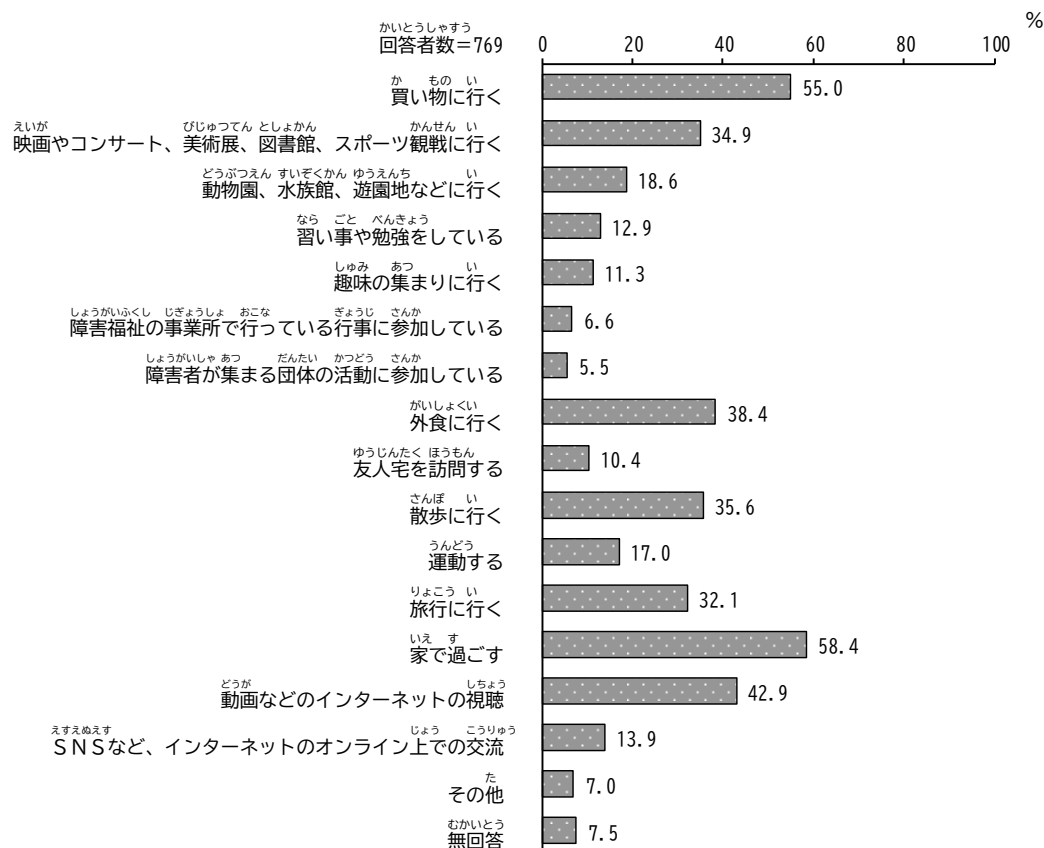
問23 あなたは近所の人とどのようなおつきあいをしたいと思っていますか。(○はいくつでも)

「挨拶をする程度」の割合が56.0%と最も高く、次いで「時々話をする」の割合が33.2%となっています。



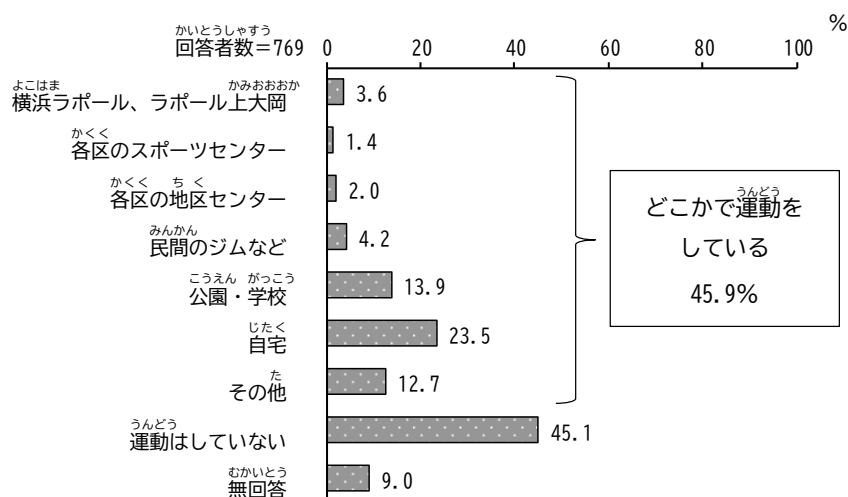
問24 あなたは自由時間や余暇時間をどのように過ごしたいですか。(○はいくつでも)

「家で過ごす」の割合が58.4%と最も高く、次いで「買い物に行く」の割合が55.0%、「動画などのインターネットの視聴」の割合が42.9%となっています。



問24-1 あなたは、運動をどこでしていますか。(〇はいくつでも)

どこかで運動をしている方は45.9%、運動をしている場所は、「自宅」の割合が23.5%、「公園・学校」が13.9%、「その他」が12.7%の順に高くなっています。一方、「運動はしていない」の割合は45.1%となっています。



【運動をする場所別と健康・医療について必要なことのクロス】

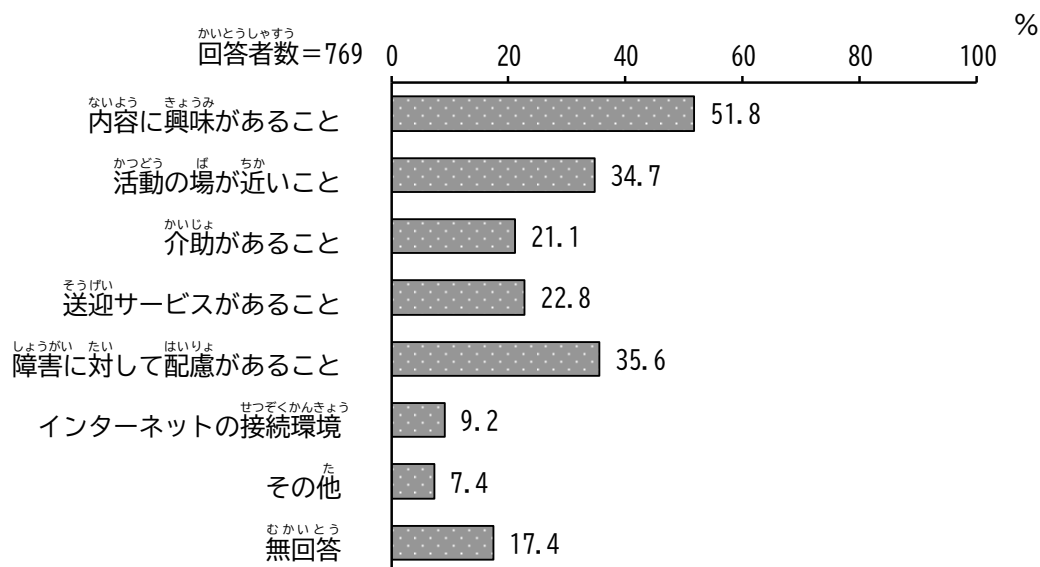
運動をする場所別にみると、すべての場所で「適度な運動」や「十分な睡眠と休養」の割合が高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問31 健康・医療について、必要なこと											
			薬の管理	栄養面での管理・指導	口腔ケア・嚥下機能の維持	医療の利用	訪問看護や往診など、在宅医療	自分の障害・病気について、相談できる場所	自分の体調について、相談できる場所	定期的な健康診断	適度な運動	十分な睡眠と休養	特に何も無い	無回答
全 体		769	40.1	25.7	26.5	16.8	32.1	27.8	32.4	41.7	46.7	11.3	7.0	
問24-1 運動をする 場所	横浜ラポール、 ラポール上大岡	28	46.4	21.4	32.1	28.6	32.1	28.6	35.7	57.1	39.3	10.7	10.7	
	各区のスポーツ センター	11	36.4	27.3	9.1	0.0	18.2	9.1	54.5	54.5	54.5	0.0	0.0	
	各区の地区セン ター	15	20.0	26.7	13.3	0.0	13.3	20.0	26.7	33.3	33.3	20.0	6.7	
	民間のジムなど	32	21.9	28.1	34.4	9.4	31.3	40.6	34.4	78.1	65.6	6.3	0.0	
	公園・学校	107	52.3	32.7	32.7	16.8	43.9	30.8	36.4	58.9	62.6	8.4	2.8	
	自宅	181	41.4	28.7	28.7	15.5	34.3	30.9	38.7	58.0	51.4	9.9	5.5	
	その他	98	42.9	33.7	23.5	13.3	40.8	32.7	39.8	56.1	50.0	11.2	5.1	
	運動はしていな い	347	43.5	26.2	28.8	21.6	32.6	30.8	32.9	33.4	47.8	13.3	2.0	

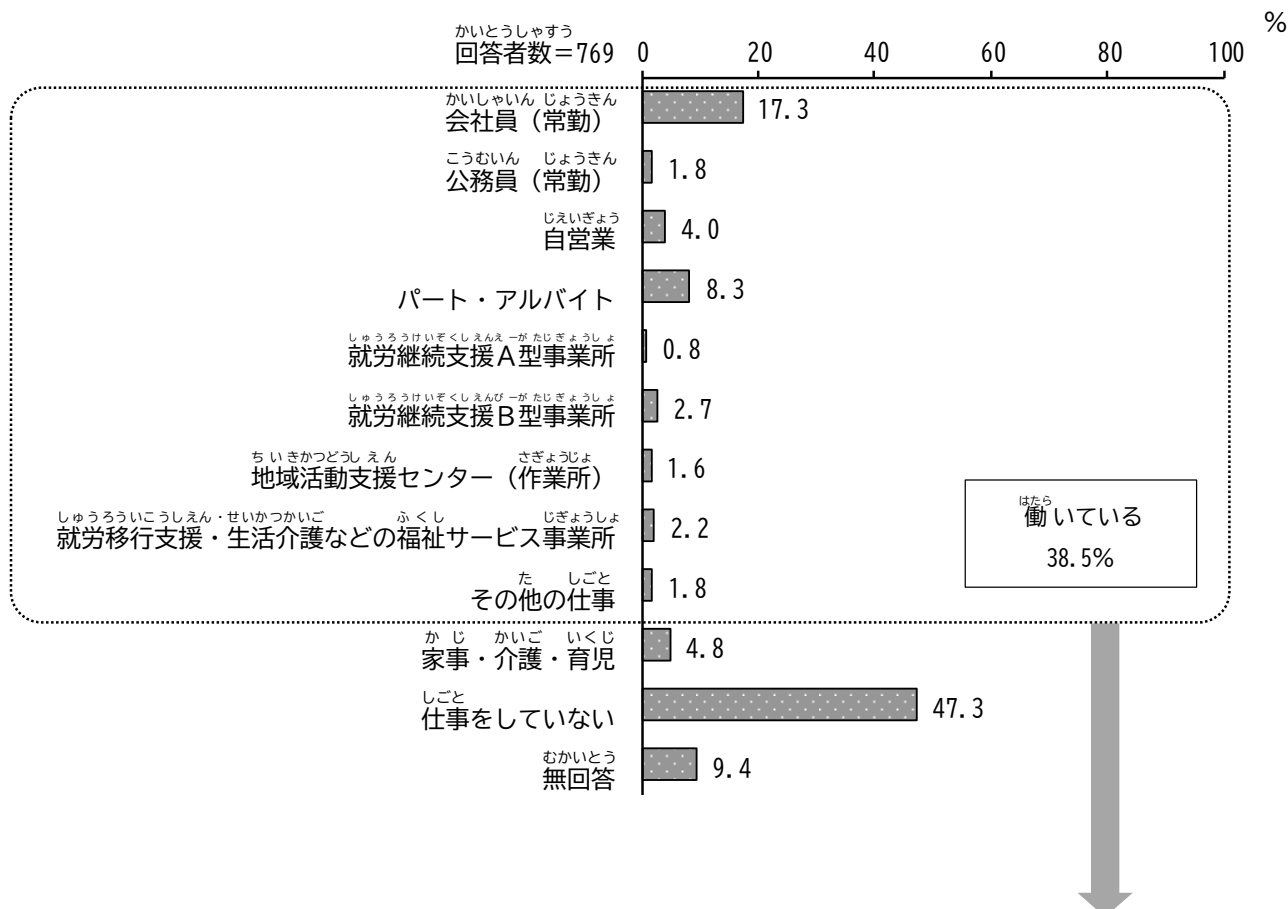
問24-2 今後、学校や職場以外での活動に参加するにはどのようなことが必要ですか。（○はいくつでも）

「内容に興味があること」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「障害に対して配慮があること」の割合が 35.6%、「活動の場が近いこと」の割合が 34.7%となっています。



問25 あなたは、現在どのような仕事をしていますか。(○はいくつでも)

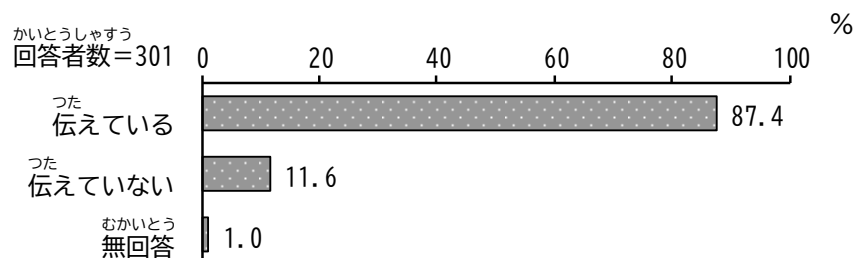
現在働いている方は38.5%、内訳は「会社員（常勤）」の割合が17.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が8.3%となっています。



問25で「会社員（常勤）」から「その他の仕事」までに回答した方にうかがいます。「家事・介護・育児」、「仕事をしていない」を回答した方は問25-6へ。

問25-1 自分の障害のことを仕事場の人に伝えてありますか。(○は1つだけ)

「伝えている」の割合が87.4%、「伝えていない」の割合が11.6%となっています。



【就労状況別と自分の障害のことを仕事場の人に伝えているかのクロス】

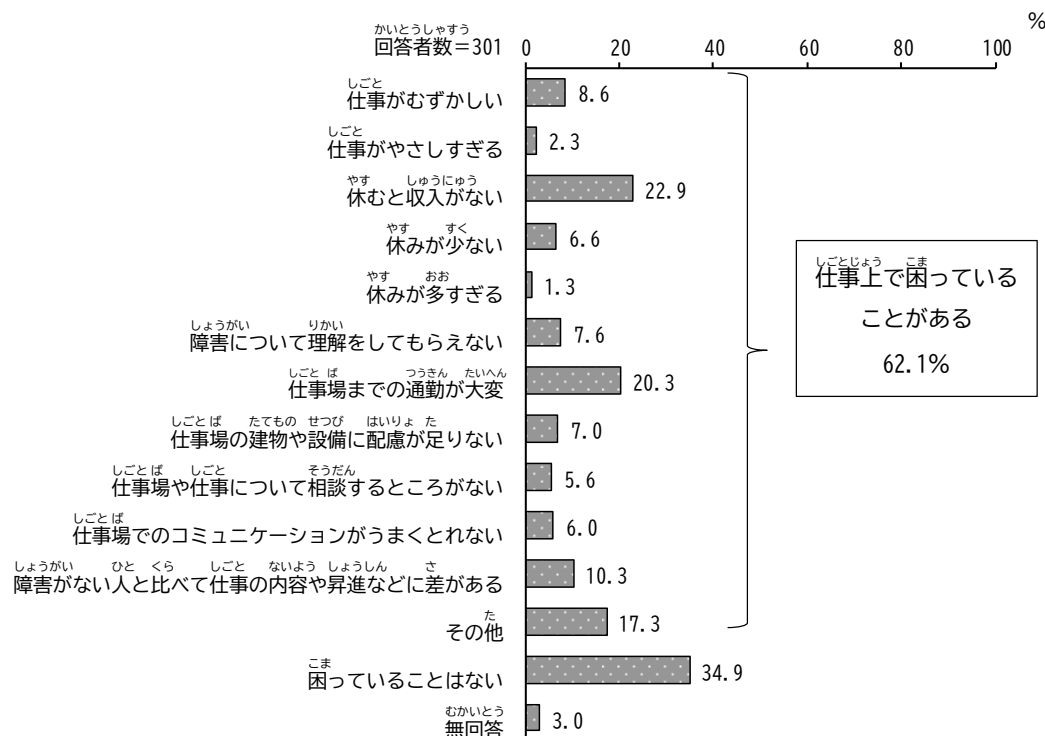
就労状況別にみると、「就労継続支援A型事業所」、「地域活動支援センター（作業所）」で特に「伝えている」が高いものの、どの就労状況でも「伝えている」が高くなっています。

単位：%

	回答者数 (件)	問25-1 自分の障害を仕事場の人に伝えているか		
		伝えている	伝えていない	無回答
全 体	301	87.4	11.6	1.0
問25 現在の仕事	会社員（常勤）	94.7	5.3	0.0
	公務員（常勤）	85.7	14.3	0.0
	自営業	90.3	9.7	0.0
	パート・アルバイト	71.9	26.6	1.6
	就労継続支援A型事業所	100.0	0.0	0.0
	就労継続支援B型事業所	85.7	9.5	4.8
	地域活動支援センター（作業所）	100.0	0.0	0.0
	就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所	94.1	0.0	5.9
	その他の仕事	71.4	28.6	0.0

問25-2 仕事をしていて困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

仕事上で困っていることがあると回答した方は、働いている方の62.1%で、「休むと収入がない」の割合が22.9%、「仕事場までの通勤が大変」が20.3%、「障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある」が10.3%の順に高くなっています。一方、「困っていることはない」の割合は、34.9%となっています。



【就労状況別と仕事での困っていることのクロス】

就労状況別にみると、「会社員（常勤）」「公務員（常勤）」は「仕事場までの通勤が大変」の割合が高くなっています。また、「自営業」「パート・アルバイト」「地域活動支援センター（作業所）」は「休むと収入がない」の割合が高くなっています。

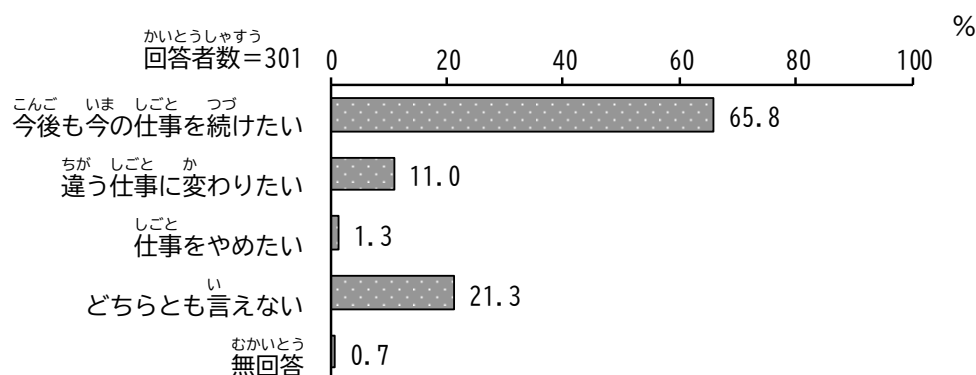
単位：％

		回答者数 (件)	問25-2 仕事をしていて困っていること										
			い	仕事 がむずかし がる	仕事 がやさし い	休むと 収入が ない	休みが 少ない	休みが 多すぎる	え ない	理解 をしてもら い	障害 について しょうがい	通勤 が大変 たいへん	仕事場 までの しごとば
全 体		301	8.6	2.3	22.9	6.6	1.3		7.6	20.3			
問25 現在の 仕事	会社員（常勤）	133	14.3	0.8	11.3	9.0	0.0		9.0	24.8			
	公務員（常勤）	14	0.0	0.0	7.1	21.4	0.0		14.3	42.9			
	自営業	31	3.2	0.0	32.3	9.7	3.2		6.5	19.4			
	パート・アルバイト	64	3.1	1.6	46.9	0.0	1.6		7.8	7.8			
	就労継続支援A型事業所	6	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0		16.7	16.7			
	就労継続支援B型事業所	21	4.8	9.5	28.6	0.0	0.0		9.5	14.3			
	地域活動支援センター （作業所）	12	8.3	16.7	33.3	0.0	8.3		8.3	16.7			
	就労移行支援・生活介護 などの福祉サービス事業所	17	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0		0.0	11.8			
	その他の仕事	14	7.1	7.1	28.6	0.0	7.1		0.0	28.6			

		問25-2 仕事をしていて困っていること									
		配慮が 足りない	仕事場の建物や設備に 相談するところがない	仕事場や仕事について 困っている	ない	仕事場でのコミュニケーションがうまくとれない	仕事場でのコミュニケーションがうまくとれない	障害がない人と比べて 仕事の内容や昇進などに差がある	その他	困っていることはない	無回答
ぜん 全 体		7.0	5.6	6.0	10.3	17.3	34.9	3.0			
問25 現在の の仕事	会社員（常勤）	7.5	5.3	6.8	12.0	13.5	39.1	1.5			
	公務員（常勤）	21.4	21.4	7.1	21.4	28.6	28.6	0.0			
	自営業	3.2	9.7	6.5	6.5	19.4	29.0	3.2			
	パート・アルバイト	9.4	1.6	6.3	7.8	20.3	29.7	1.6			
	就労継続支援A型事業所	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7			
	就労継続支援B型事業所	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	33.3	9.5			
	地域活動支援センター （作業所）	0.0	8.3	16.7	0.0	33.3	8.3	16.7			
	就労移行支援・生活介護 などの福祉サービス事業所	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	52.9	17.6			
	その他の仕事	7.1	14.3	0.0	35.7	28.6	28.6	0.0			

問25－3 今後も今の仕事を続けたいかについておたずねします。(○は1つだけ)

「今後も今の仕事を続けたい」の割合が65.8%、「どちらとも言えない」の割合が21.3%の順に高くなっています。一方、「仕事をやめたい」の割合は1.3%となっています。



【就労状況別と今の仕事を続けたいかのクロス】

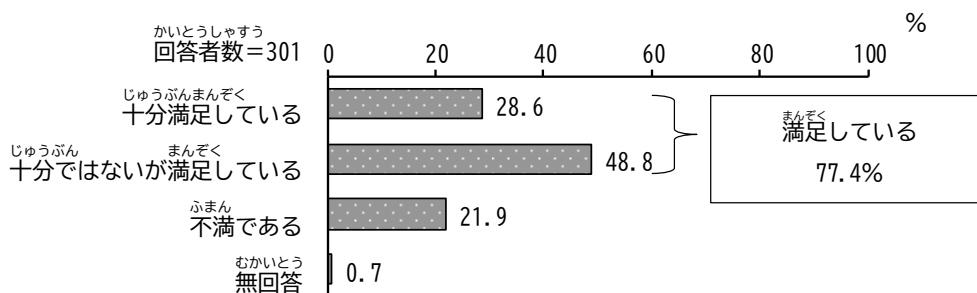
就労状況別にみると、いずれの就労状況でも「今後も今の仕事を続けたい」の割合が最も高くなっていますが、「就労継続支援A型事業所」「地域活動支援センター（作業所）」で「違う仕事に変わりたい」の割合が他と比較して高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問25－3 今後も今の仕事を続けたいか					
			を 続け たい	今 後 も 今 の 仕 事 に 変 わ り た い	違 う 仕 事 に 変 わ り た い	仕 事 を や め た い	な い	ど ち ら と も 言 え ない
全 体		301	65.8	11.0	1.3	21.3	0.7	
問25 現在の 仕事	会社員（常勤）	133	68.4	12.0	0.8	18.8	0.0	
	公務員（常勤）	14	64.3	0.0	0.0	35.7	0.0	
	自営業	31	71.0	3.2	6.5	19.4	0.0	
	パート・アルバイト	64	59.4	15.6	0.0	23.4	1.6	
	就労継続支援A型事業所	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	
	就労継続支援B型事業所	21	76.2	9.5	0.0	14.3	0.0	
	地域活動支援センター（作業所）	12	58.3	25.0	0.0	16.7	0.0	
	就労移行支援・生活介護などの福祉 サービス事業所	17	64.7	11.8	0.0	17.6	5.9	
	その他の仕事	14	42.9	7.1	0.0	50.0	0.0	

問25－4 今の仕事でもらえるお金（賃金・給料・工賃など）についておたずねします。
（○は1つだけ）

「十分満足している」「十分ではないが満足している」を合わせた“満足している”の割合が77.4%となっています。一方、「不満である」の割合は21.9%となっています。



【就労状況別と今の仕事でもらえるお金の満足度のクロス】

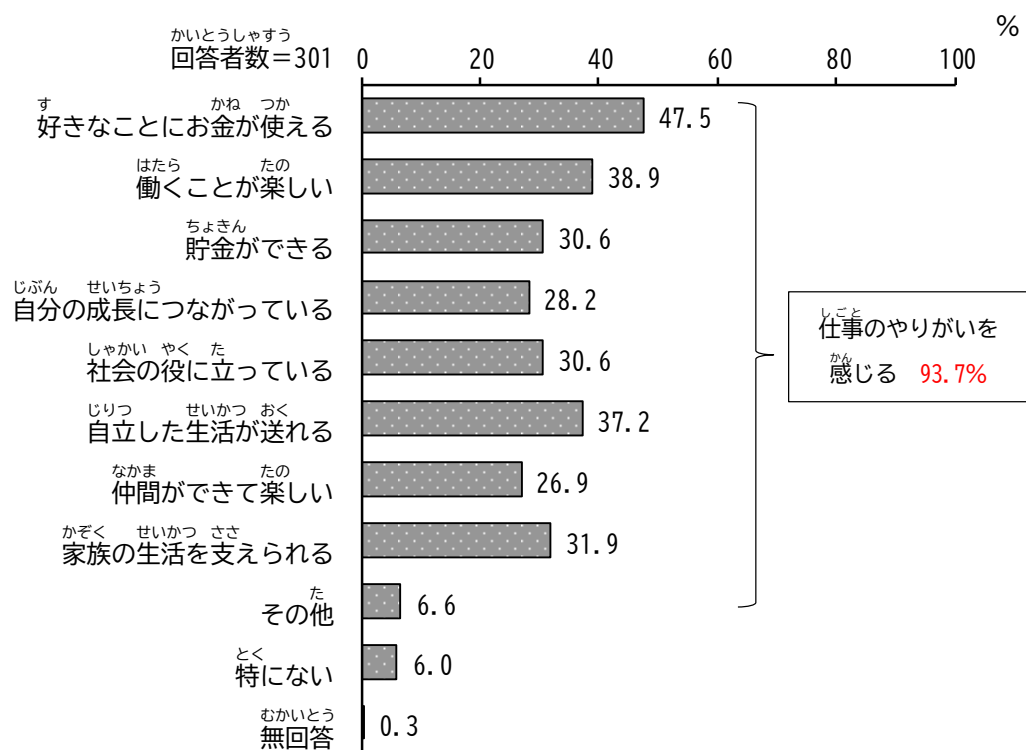
就労状況別にみると、「会社員（常勤）」「公務員（常勤）」「自営業」で“満足している”の割合が高くなっています。一方、「地域活動支援センター（作業所）」で「不満である」の割合が、他と比較してやや高くなっています。

単位：%

		回答者数 (件)	問25－4 今の仕事でもらえるお金の満足度						
			している	十分満足	している	ないが満足	十分では	不満である	無回答
全体		301	28.6	48.8	21.9	0.7			
問25 現在の仕事	会社員（常勤）	133	43.6	40.6	15.8	0.0			
	公務員（常勤）	14	35.7	64.3	0.0	0.0			
	自営業	31	19.4	61.3	19.4	0.0			
	パート・アルバイト	64	12.5	62.5	25.0	0.0			
	就労継続支援A型事業所	6	0.0	66.7	33.3	0.0			
	就労継続支援B型事業所	21	14.3	52.4	33.3	0.0			
	地域活動支援センター（作業所）	12	8.3	25.0	58.3	8.3			
	就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所	17	11.8	58.8	23.5	5.9			
	その他の仕事	14	21.4	50.0	28.6	0.0			

問25－5 あなたが感じる仕事のやりがいについておたずねします。(○はいくつでも)

仕事のやりがいを感じている人は **93.7%**で、具体的には「好きなことにお金を使える」の割合が47.5%と最も高く、次いで「働くことが楽しい」の割合が38.9%、「自立した生活が送れる」の割合が37.2%となっています。



【就労状況別と仕事のやりがいのクロス】

将来暮らしたい人別にみると、「会社員（常勤）」「公務員（常勤）」「地域活動支援センター（作業所）」は「好きなことにお金を使える」が、「自営業」は「自立した生活が送れる」「仲間ができて楽しい」が、「パート・アルバイト」「就労継続支援B型事業所」「就労移行支援・生活介護などの福祉サービス事業所」は「働くことが楽しい」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問25－5 仕事のやりがい										
			好きなことにお金 が使える	働くことが楽しい	貯金ができる	自分の成長につ ながっている	社会の役に立っ ている	自立した生活が 送れる	仲間ができて 楽しい	家族の生活を 支えられる	その他	特 にない	無 回 答
全 体		301	47.5	38.9	30.6	28.2	30.6	37.2	26.9	31.9	6.6	6.0	0.3
問25 現在 の仕事	会社員（常勤）	133	56.4	32.3	36.1	26.3	37.6	40.6	21.8	45.1	4.5	4.5	0.8
	公務員（常勤）	14	57.1	28.6	35.7	21.4	42.9	35.7	21.4	35.7	7.1	7.1	0.0
	自営業	31	32.3	35.5	19.4	35.5	35.5	38.7	38.7	32.3	12.9	6.5	0.0
	パート・アルバイト	64	42.2	45.3	31.3	28.1	26.6	39.1	29.7	26.6	9.4	7.8	0.0
	就労継続支援 A型事業所	6	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0
	就労継続支援 B型事業所	21	47.6	52.4	28.6	33.3	9.5	42.9	42.9	9.5	0.0	4.8	0.0
	地域活動支援センタ ー（作業所）	12	50.0	33.3	8.3	16.7	16.7	8.3	25.0	8.3	0.0	16.7	0.0
	就労移行支援・ 生活介護などの福祉 サービス事業所	17	11.8	47.1	11.8	35.3	17.6	11.8	23.5	0.0	5.9	23.5	0.0
	その他の仕事	14	42.9	50.0	28.6	42.9	28.6	42.9	28.6	21.4	21.4	7.1	0.0

【将来暮らしたい人別と仕事のやりがいのクロス】

将来暮らしたい人別にみると、「一人」・「子」で「好きなことにお金を使える」、「友人・知人・仲間など」で「働くことが楽しい」「仲間ができて楽しい」の割合が高くなっています。

また、「一人」で「貯金ができる」「自立した生活が送れる」、「妻や夫」で「社会の役に立っている」、「子」で「家族の生活をえられる」の割合が高くなっています。

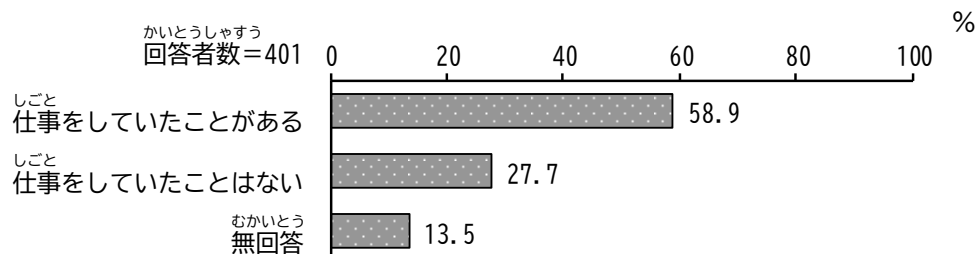
単位：％

		回答者数 (件)	問25-5 仕事のやりがい										
			好きなことにお金 が使える	働くことが 楽しい	貯金 ができる	自分の成長に つながっている	社会の役に 立っている	自立した生活が 送れる	仲間が できて楽しい	家族の生活を 支えられる	その他	特 に ない	無 回 答
全 体		301	47.5	38.9	30.6	28.2	30.6	37.2	26.9	31.9	6.6	6.0	0.3
問19-1 将来暮ら したい人	ひとり 一人	80	57.5	41.3	36.3	35.0	28.8	58.8	23.8	10.0	6.3	6.3	0.0
	妻や夫	155	45.2	38.7	31.0	31.6	38.1	37.4	28.4	52.3	5.8	3.2	0.0
	子	67	46.3	41.8	32.8	32.8	31.3	32.8	34.3	62.7	7.5	3.0	0.0
	親	57	42.1	36.8	35.1	26.3	24.6	14.0	31.6	17.5	7.0	12.3	0.0
	兄弟・姉妹	20	35.0	20.0	15.0	10.0	25.0	5.0	20.0	10.0	15.0	35.0	0.0
	友人・知人・ 仲間など	16	43.8	50.0	25.0	43.8	18.8	31.3	50.0	6.3	6.3	0.0	0.0
	その他	22	45.5	36.4	18.2	22.7	31.8	27.3	18.2	27.3	13.6	9.1	0.0

問25で「家事・介護・育児」「仕事をしていない」と回答した方にうかがいます。

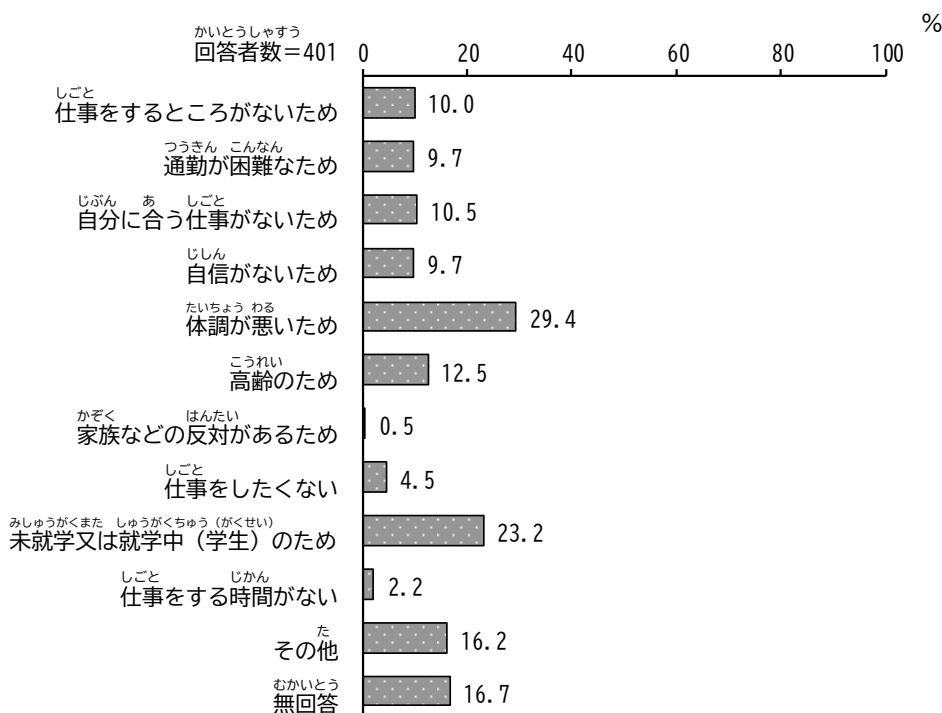
問25-6 あなたは過去に仕事をしていたことがありますか。(○は1つだけ)

「仕事をしていたことがある」の割合が 58.9%、「仕事をしていたことはない」の割合が 27.7%となっています。



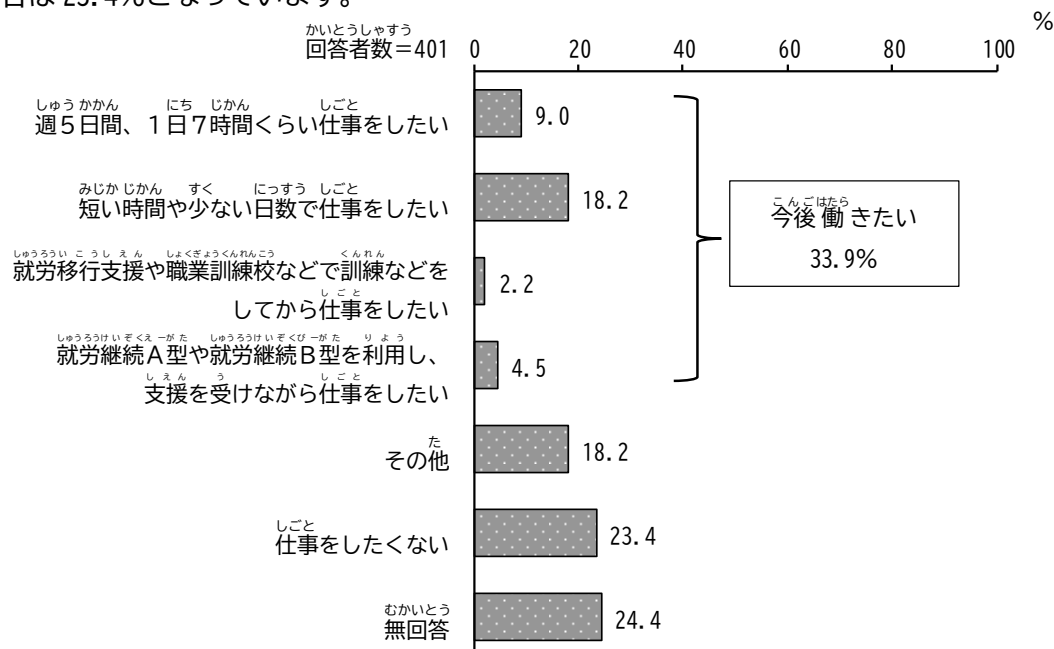
問25－7 仕事をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「体調が悪いため」の割合が29.4%、「未就学又は就学中（学生）のため」が23.2%、「高齢のため」が12.5%の順に高くなっています。一方、「仕事をしたくない」の割合は4.5%となっています。



問25－8 今後の仕事の希望についておたずねします。(○は1つだけ)

今後働きたい方は33.9%で、具体的には、「短い時間や少ない日数で仕事をしたい」の割合が18.2%、「週5日間、1日7時間くらい仕事をしたい」が9.0%、「就労継続A型や就労継続B型を利用し、支援を受けながら仕事をしたい」が4.5%の順に高くなっています。一方、「仕事をしたくない」の割合は23.4%となっています。



【年齢区分別と今後の就労希望のクロス】

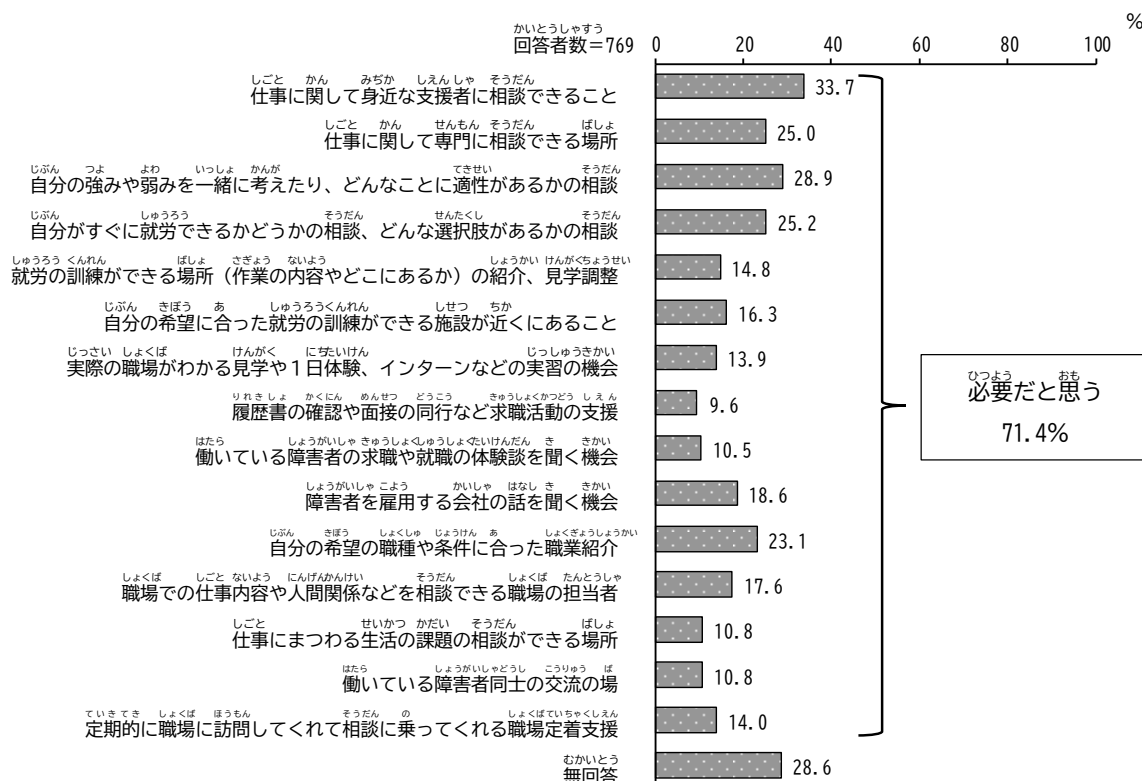
年齢区分別にみると、「20歳未満」「20～30歳代」「50歳代」で「今後働きたい」の割合が高くなっています。

単位：％

		回答者数 (件)	問25－8 今後の就労希望			
			今後働きたい	その他	仕事をしたくない	無回答
全 体		401	33.9	18.2	23.4	24.4
問2 年齢	20歳未満	103	42.7	20.4	7.8	29.1
	20～30歳代	32	43.8	15.6	18.8	21.9
	40歳代	34	32.3	20.6	23.5	23.5
	50歳代	80	42.6	25.0	23.8	8.8
	60歳以上	145	20.7	13.1	36.6	29.7

問26 全ての方におたずねします。仕事についたり、仕事を続けるために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

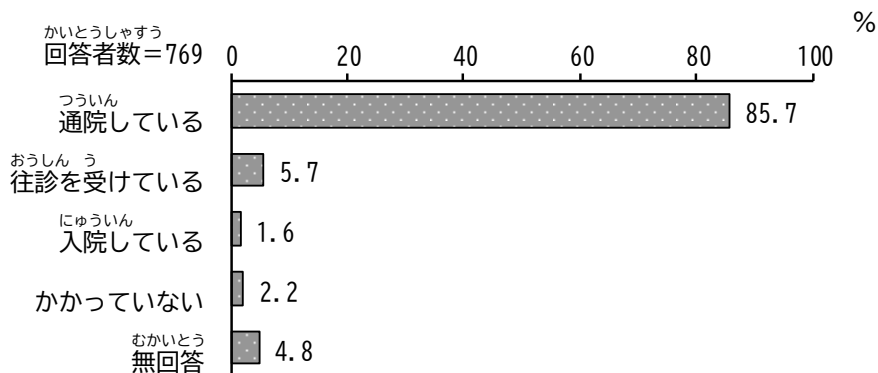
仕事についたり、仕事を続けるために何らかの支援が必要だと思う人は、71.4%。具体的には、「仕事に関して身近な支援者に相談できること」の割合が33.7%と最も高く、次いで「自分の強みや弱みを一緒に考えたり、どんなことに適性があるかの相談」の割合が28.9%、「自分がすぐに就労できるかどうかの相談、どんな選択肢があるかの相談」の割合が25.2%となっています。



医療と健康についておたずねします

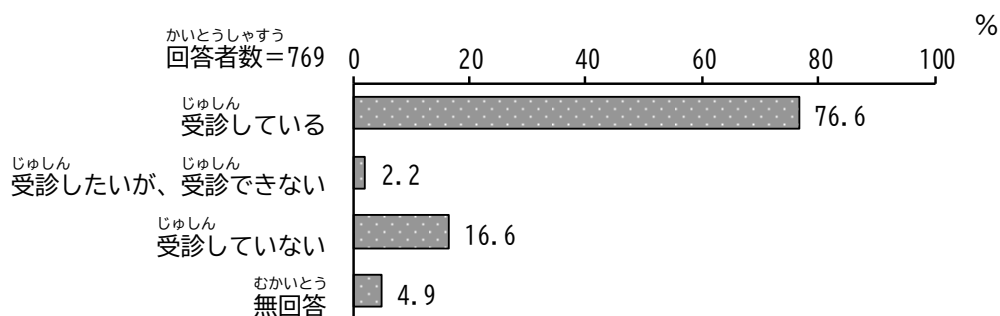
問27 あなたは現在医療機関にかかっていますか。(○は1つだけ)

「通院している」の割合が85.7%、「往診を受けている」が5.7%、「入院している」が1.6%の順に高くなっています。一方、「かかっていない」の割合は2.2%となっています。



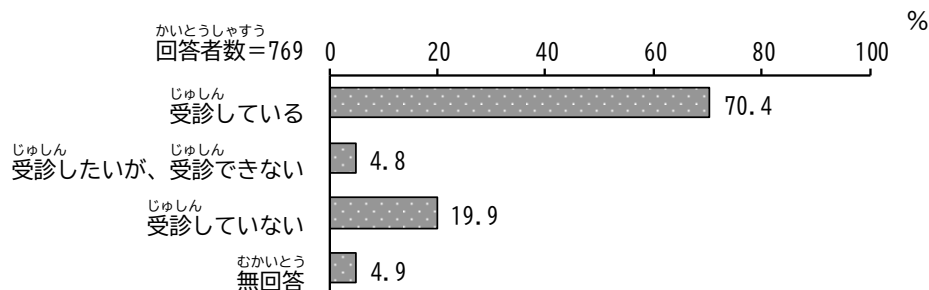
問28 あなたは、障害を専門に診察してくれる主治医の他に、風邪をひいた時などに診察を受ける近くのクリニックなどへ受診していますか。(○はいくつでも)

「受診している」の割合が76.6%、「受診したいが、受診できない」の割合が2.2%、「受診していない」の割合が16.6%となっています。



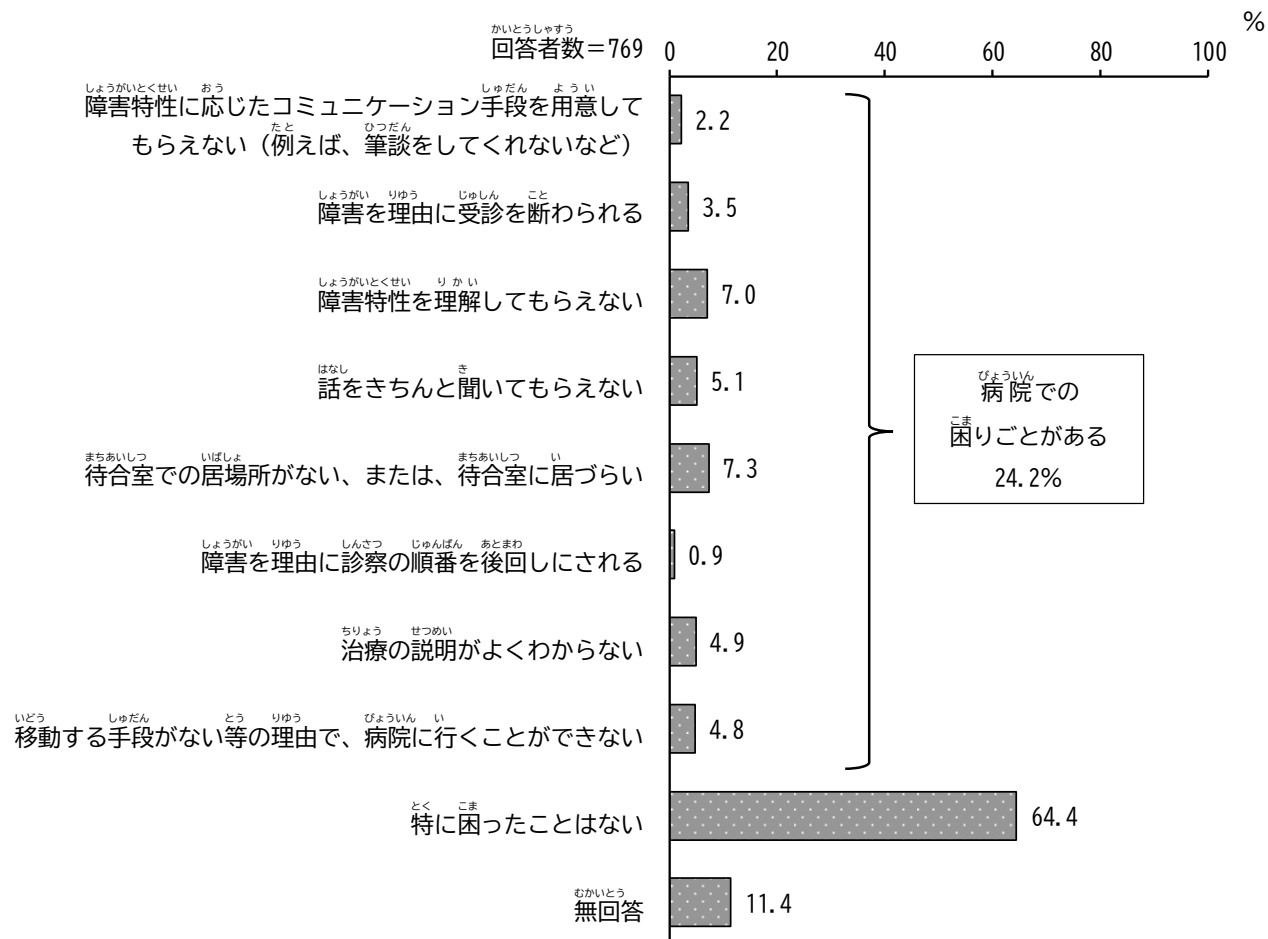
問29 あなたは、障害を専門に診察してくれる主治医の他に、歯や口の健康のことで診察を受けるために近くの歯科クリニックへ受診していますか。(○はいくつでも)

「受診している」の割合が70.4%、「受診したいが、受診できない」の割合が4.8%、「受診していない」の割合が19.9%となっています。



問30 病院での困りごととはなんですか。（〇はいくつでも）

病院での困りごとがある方は 24.2%、具体的には、「待合室での居場所がない、または、待合室に居づらい」の割合が 7.3%、「障害特性を理解してもらえない」が 7.0%、「話をきちんと聞いてもらえない」が 5.1%の順に高くなっています。一方、「特に困ったことはない」の割合は 64.4%となっています。



【歯科受診別と病院での困りごとのクロス】

歯や口の健康のことでの歯科クリニックの受診別にみると、「受診したいが、受診できない」と回答した方では、「待合室での居場所がない、または、待合室に居づらい」、「移動する手段がない等の理由で、病院に行くことができない」の割合が高くなっています。

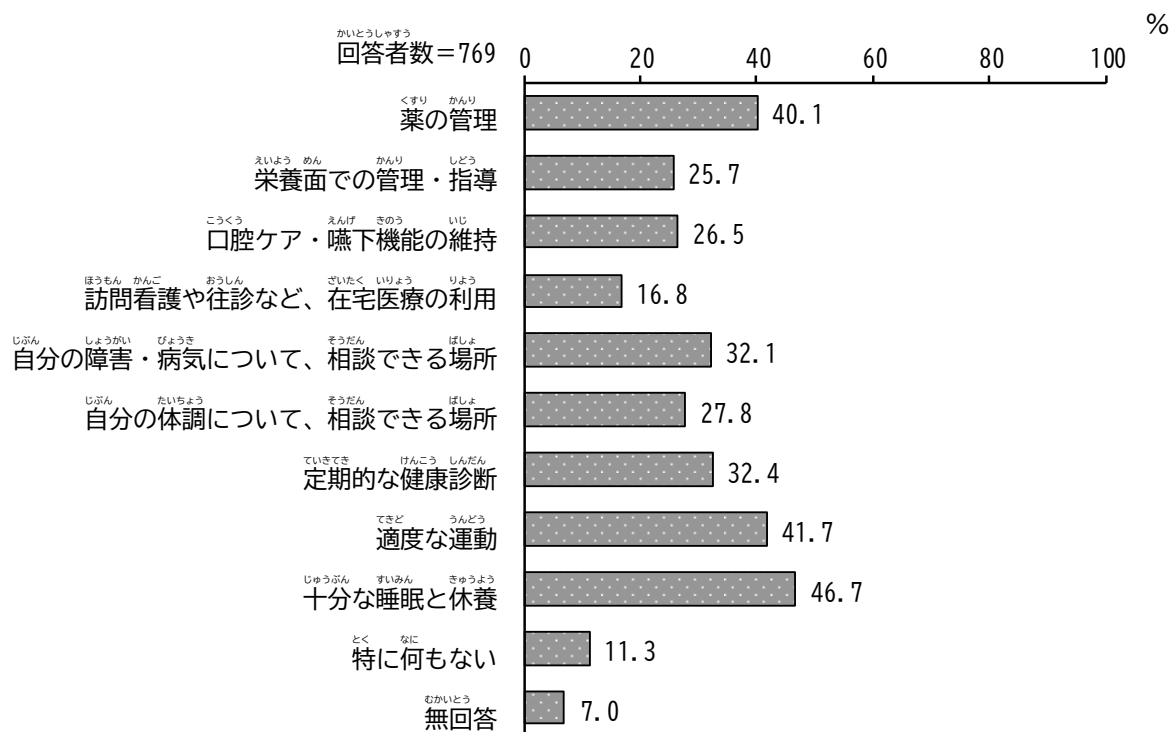
単位：％

		回答者数(件)	問30 病院での困りごと						
			筆談をして くれないなど	障害特性に 応じたコミュ ニケーション 手段を用意 してもらえ ない(例え ば、たと ひつだん)	障害を理由 に受診を断 られる	えない	障害特性を 理解して もらえない	話をきちん と聞いて もらえない	待合室での 居場所が ない、ま たは、待 合室に居 づらい
全体		769	2.2	3.5	7.0	5.1	7.3		
問29 歯科受診 状況	受診している	541	2.2	3.0	7.0	3.7	5.9		
	受診したいが、 受診できない	37	8.1	16.2	16.2	18.9	27.0		
	受診していない	153	1.3	3.3	6.5	7.8	9.2		

		問30 病院での困りごと				
		順番を後回しにされる 障害を理由に診察の しやうがい じやういん	ない	治療の説明がよくわから ない	移動する手段がない等の 理由で、病院に行くこと ができない	特に困ったことはない
全体		0.9	4.9	4.8	64.4	11.4
問29 歯科受診 状況	受診している	0.7	4.6	3.1	71.7	6.8
	受診したいが、受診できない	5.4	10.8	21.6	24.3	10.8
	受診していない	0.7	5.2	7.2	58.8	11.8

問31 あなたの健康・医療について、必要だと思うことはなんですか。（○はいくつでも）

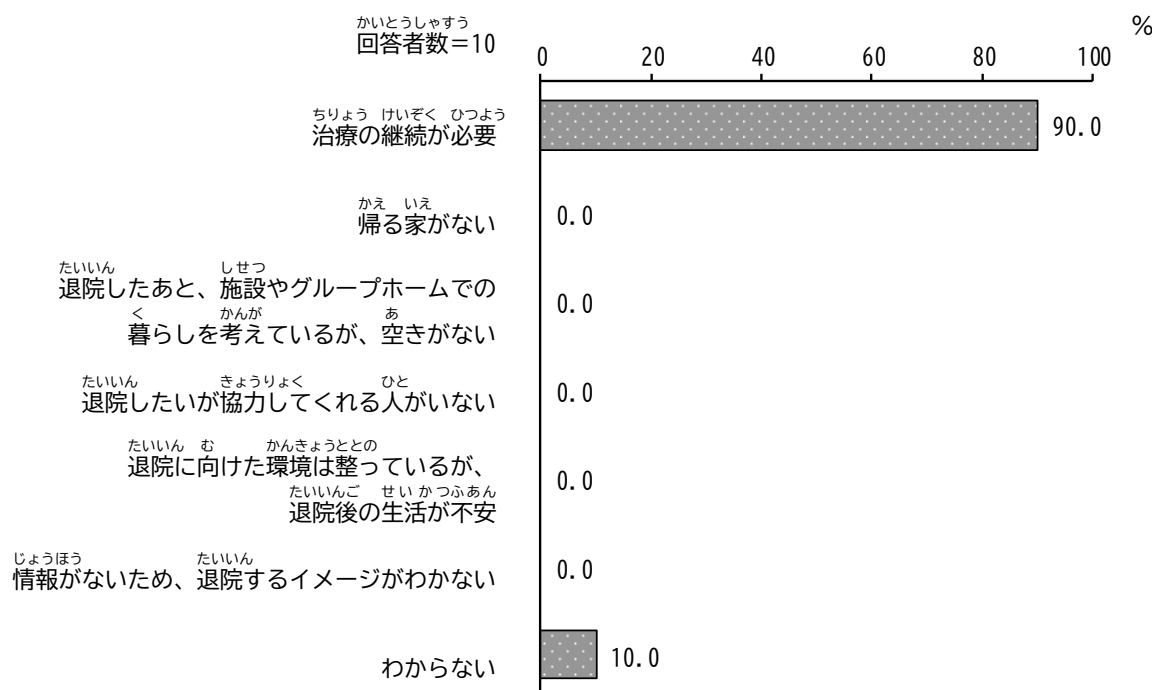
「十分な睡眠と休養」の割合が46.7%、「適度な運動」が41.7%、「薬の管理」が40.1%の順に高くなっています。一方、「特に何もなし」の割合は11.3%となっています。



※1年以上、病院で過ごしている方にうかがいます。

問32 病院での生活が長くなっている理由は何のようなものですか。（○は1つだけ）

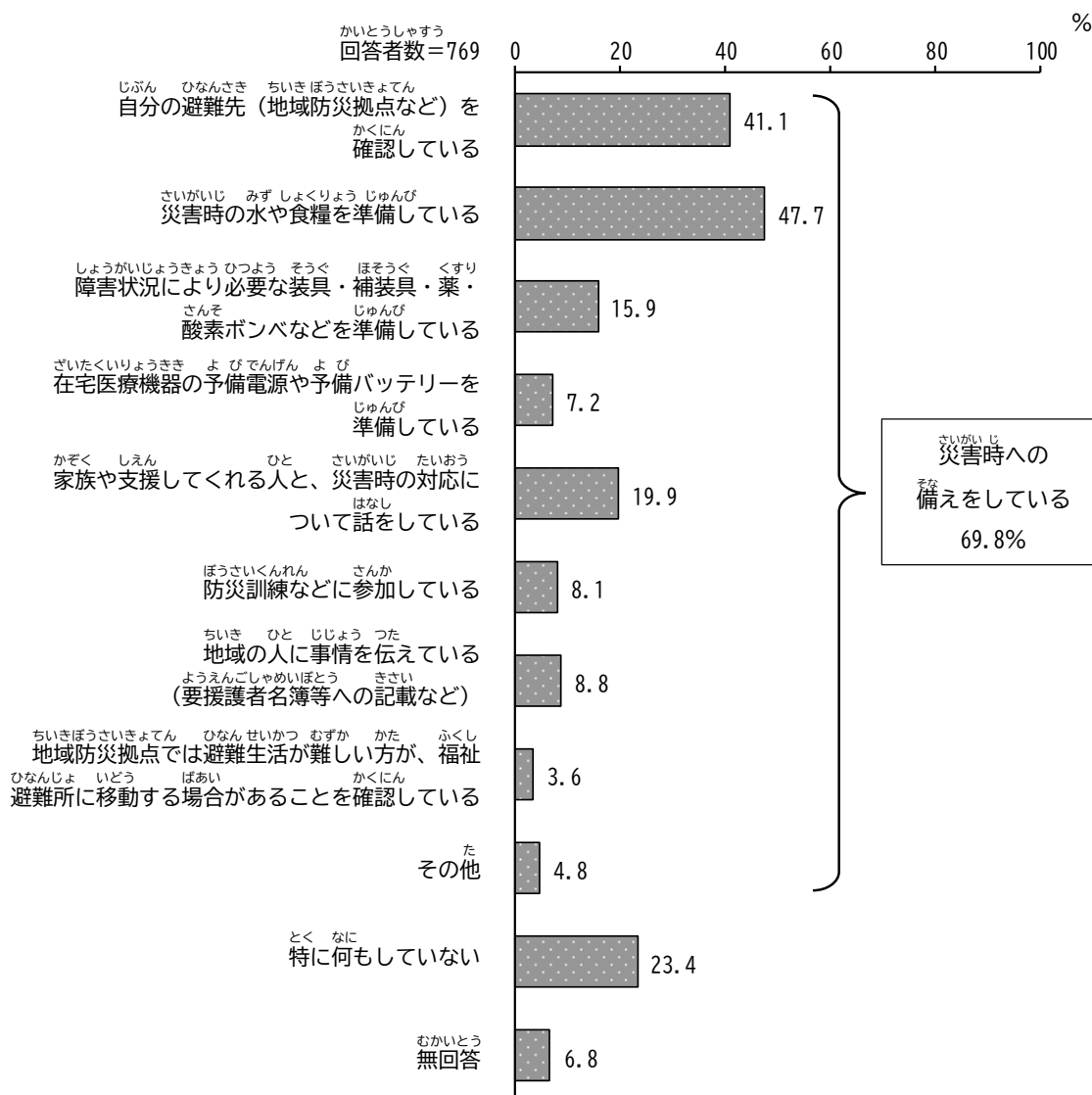
「治療の継続が必要」の割合が90.0%と最も高くなっています。



災害関係についておたずねします

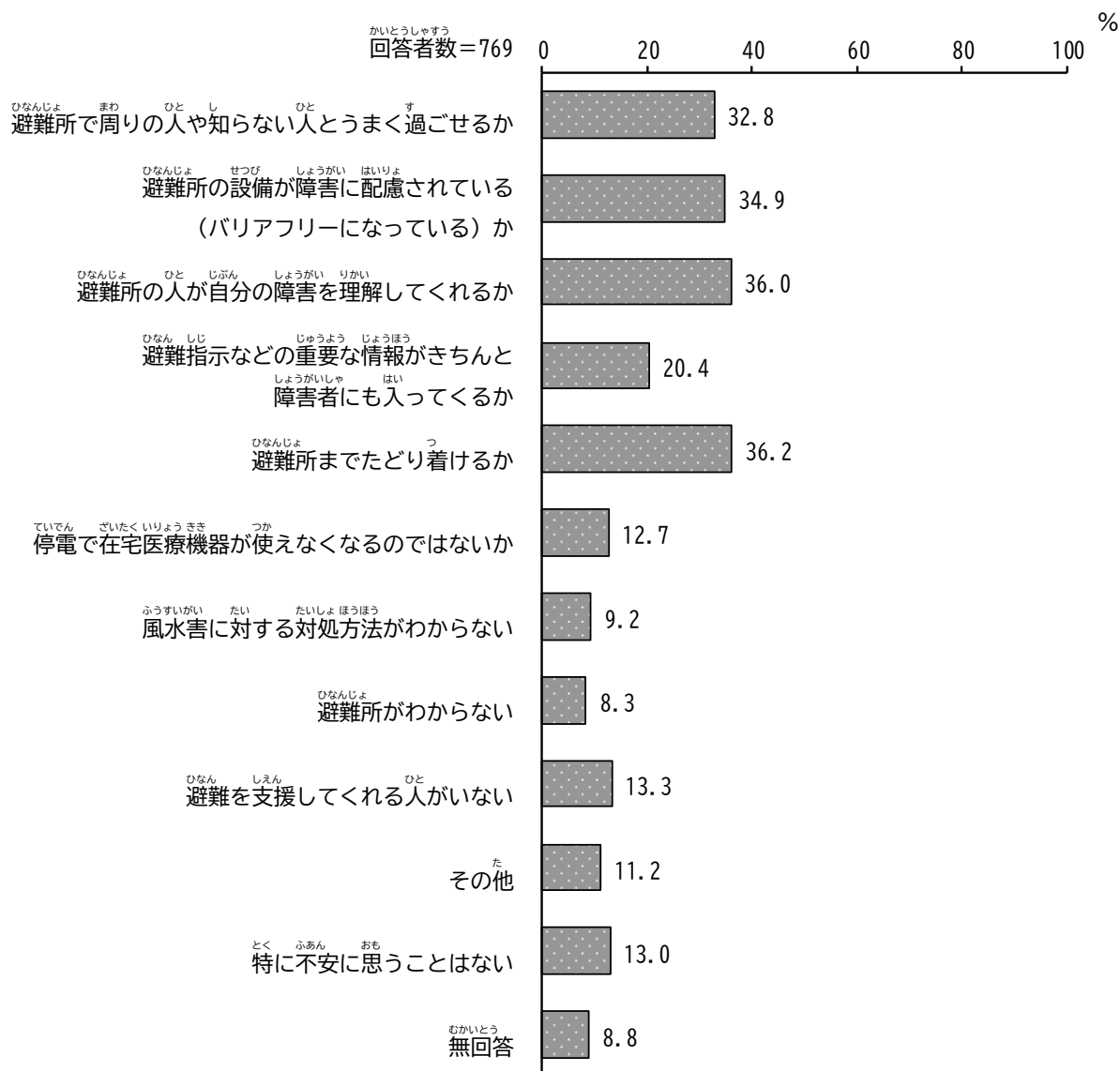
問33 災害時への備えとして、どんなことをしていますか。(〇はいくつでも)

災害時への備えをしている方は69.8%、具体的には、「災害時の水や食糧を準備している」の割合が47.7%、「自分の避難先（地域防災拠点など）を確認している」が41.1%、「家族や支援してくれる人と、災害時の対応について話をしている」が19.9%の順に高くなっています。一方、「特に何もしていない」の割合は、23.4%となっています。



問34 災害に備えていても、不安に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「避難所までたどり着けるか」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「避難所の人が自分の障害を理解してくれるか」の割合が 36.0%、「避難所の設備が障害に配慮されている（バリアフリーになっている）か」の割合が 34.9%となっています。



その他、自由意見など ※全体報告書に記載したものと同一内容です。

問35 このアンケートで、「その他」や選択肢に当てはまるものがなかったもの、問にはないけれども伝えたいことや、横浜市の障害福祉の取組についてのご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

アンケート調査票の自由記述欄において、多数の意見を寄せていただきました。

具体的に設問番号を記載されたもののうち、同じ趣旨のご意見をまとめて掲載します。掲載に際しては、文言の体裁を整えるため、原文そのままではありません。また、個人情報や個人が特定されるおそれがある内容は除いて掲載しています。

【問1】アンケートの代筆や記入のサポートが必要な理由

- ・ 意思表示はできるが、質問の理解が困難な場合は説明をしながら、聞きとりをしました。
- ・ 1問ずつ長時間熟考するので時間がかかりました。
- ・ 視力が落ちて読解に支障があるためです。

【問12】日常生活（移動や家事など）で困ること

- ・ 字が読みづらいため、買い物や外出時は大変で時間がかかります。間違えてしまうこともあります。拡大鏡やスマホの拡大鏡アプリは必須です。
- ・ 人混みや初めて訪問する場所。
- ・ 食べることはできるが声をかけないと食べ始めず、着ることはできるがえらべないです。

【問13】意思の疎通について

- ・ 言葉がききとりづらく相手に理解してもらえないことが多いです。
- ・ 伝えることが上手くできないこともある。
- ・ 相手の方がマスクをしていると理解がむずかしい時があります。
- ・ 相手の方の声の質によって聞き取りにくい場合があります。
- ・ 耳の近くで会話をしています。

【問14】生活上の不満や相談ごと

- ・ 障害者雇用の求人は短時間勤務や有期雇用などが多く、今の収入では生活が苦しく将来が不安です。職場も障害者を雇っているだけでひとりひとりを評価してくれない。障害者を一括りにしないで個人として尊重されたい。
- ・ どこへ相談したらよいのか、どのような情報があるのか見える化してほしいです。（専用のweb pageを作ってそのpageへアクセスすれば、すべての情報が入っているようにしてほしい）
- ・ 若かったり、外見からでは障害があると分からない場合、椅子にかけたり、休める場所が増えるとありがたいです。
- ・ 子どもの特性、個性に合う施設に巡り合うことの難しさを感じています。文字情報として持っていて通えるのか、から始まり、親は良くて、子どもはどうなんだろうと、問い合わせ前の

気持ちづくりがすごく気が重く、地区センターなどに^{でまえたけいけん}出前体験ができる^{きかい}機会や、^{ごうどうせつめいかい}合同説明会などで^{しえん}マッチングを支援してほしいです。

【問15】^{こうつうきかん}交通機関や^{がいしゅつじ}外出時における^{きけん}危険・^{こんなん}困難

- ・^{ほどう}歩道を^{ある}歩いているとしばしば、^{じてんしゃ}自転車（^{でんどうつき}電動付き）が^{もう}猛スピードで^{まえ}前から^{あと}後からも^{はし}走ってくるのが怖いです。
- ・^{でんしゃ}電車やバスが^と止まったりした時、^{とき}車内に^{しやない}アナウンスが^{なが}流れるが、^{なんちようしゃ}難聴者は^き聞こえないため^{じようほう}情報が^え得られず^{こま}困ります。車内の^{しやない}テロップなどにも^{どうじ}同時に^{ひようじ}表示するようにして^{いた}頂きたいです。
- ・^{でんしゃ}電車の^{ゆうせんせき}優先席 ^{ゆうせん}優先される事はほとんどないです。
- ・^{しょうがいしゃよう}障害者用の^{けんじようしゃ}エリアに^{こんざつ}健全者が^{りよう}混雑のため^{ばあい}利用している場合があり、いつでも^{つか}使える^{じようきよう}状況では^{あり}ありません。
- ・^{くるま}どのタクシーでも、いつでも^の車いすのまま^の乗れるタクシーに^{あり}してほしいです。

【問16】^{しょうがいふくし}障害福祉にかかわる^{じようほう}情報の^{にゅうしゅほうほう}入手方法

- ・^{しょうがいふくし}障害福祉の^ああんないも^よ読んで^はいますが、^{もじ}文字ばかりで^よ読みに^くくいです。もっと^わ分かりやすく、^{じようほう}情報を^{ひろ}広めてもらえれば、「^{はじ}初めて^し知った」「^{はやく}もっと早く^し知りたかった」ということが^へ減らせると思います。^お身体^{しんたい}障害や^{ちてきしやうがい}知的障害、^こ子どもの^{しょうがいふくし}障害福祉に関する^{かん}情報の^{じようほう}方が、^し市の^{こうほう}広報や^{ほむページ}H P に^おたくさん^の載っているように^{おも}思います。^{かんたん}簡単に^{かんたん}福祉や^{かんたん}支援サービスの^{かん}情報に^{じようほう}アクセスできる^しように^{ほむページ}市の^{かいりよう}H P を^{あり}改良して^{あり}ほしいです。

【問22】^{ふくしとくべつじようしゃけん}福祉特別乗車券について

- ・^{かみ}紙の^{じようしゃけん}乗車券でなく、^{じどうかいさつぐち}自動改札口を^{つか}使えるようにして^ほ欲しい。自分の^{じぶん}S u i c a に^す紐付け^い出来たら^かなお^{ひもづ}良い。駅員さんの^{えきいん}いる^{えきいん}改札口で^{かみ}紙の^{じようしゃけん}乗車券を^み見せるのは、^{たにん}他人の^め目も^{きんちよう}気になるし、^{きんちよう}緊張^{きんちよう}するので^い嫌^いです。
- ・^{でんしゃ}電車は^{ちかてつ}地下鉄と^{りよう}シーサイドラインしか^{そうてつ}利用^{けいきゅう}できない。相鉄、^{じえいあーる}京急、^{りよう}J R も^{りよう}利用できるように^ほして^ほ欲しいです。
- ・^{ふくしとくべつじようしゃけん}福祉特別乗車券は^{まいとしりよう}毎年^{たいへんあ}利用^{がた}しています。大変^{おも}有り難く^{ちかてつ}思っています。地下鉄^{すこ}バスと^{とお}少し^{すこ}遠出も^{とお}出来^{すこ}ます。これから^{すこ}も^{とお}継続^{すこ}して^{すこ}下さい。
- ・^{じようしゃけん}乗車券を^{つか}使うと^{まった}全く^{うんどう}運動^{ある}しなくなるので、^{ある}歩くように^{あり}しています。

【問24】^{よかす}余暇の^{かた}過ごし方や^{じようほう}情報^{じようほう}アクセス

- ・^{いえ}家の^{まわ}周りを^{さんぽ}散歩や^{うんどう}運動。
- ・^{でいーがいでいー}テレビ^{しちよう}D V D の^{しちよう}視聴。
- ・^{きようしつ}スポーツクラブの^{きようしつ}スクール（かけっこ^{きようしつ}教室）。

【問25】仕事や就労に関する状況と希望

- ・ 自宅で自由な時間に仕事をしたいです。
- ・ 6時間の就労がほとんどで、8時間働くことが出来ないのが困りごとです。（パートアルバイトの仕事が多く収入としては健康で文化的な生活を営むには少ない賃金です。）
- ・ 外見では、私の障害は分かりにくいので、仕事をしていても（障害のことを伝えていても）健聴者と思われ、仕事がなかなかスムーズにいくことが少ないです。
- ・ 病気で障害者になった直後のフォローがほしかったです。仕事が見つかるまで、又はそのままその職場で働く事ができる様手続き、アドバイスがあるとうれしかった。

【問30】病院受診時の困りごと

- ・ 待ち時間が長い。
- ・ いっ自分の名前が呼ばれるのか聞きもらしてはいけないと思い、ストレスがたまります。
- ・ 自分の症状を医師に上手く伝えられないです。
- ・ 対応してくれる歯科はなかなか無く、何件も断られてしまう。

【問34】災害時の備えや不安

- ・ 災害時に、ふだん飲んでる薬が切れないか心配です。
- ・ トイレの確保ができるか心配です。
- ・ 多くの人が集まる場や、知らない人が集まる場にとっても強い緊張と不安があるので、その精神的な部分からトイレに行く事が出来なくなってしまいます。
- ・ 避難所で内部障害だと、周りから見たら要支援者と見られず、また自分からも伝えづらいので無理をしてしまいそう。
- ・ 人工内耳を使用しているので、バッテリーが切れた際、充電する電源が無くなった場合には、通常のコミュニケーションが取れなくなる不安があります。